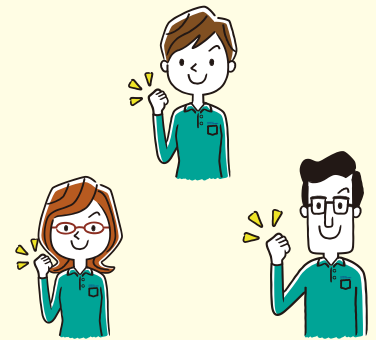


地域福祉コーディネーター  
生活支援コーディネーター  
令和4年度活動報告書

activity report  
2022



気づく・動く・つながる  
みんなが主役！  
地域で支えあうまちづくり

府中市社会福祉協議会



## はじめに

平成26年度から、地域福祉コーディネーターの配置とわがまち支えあい協議会の推進の取組みを並行して推進し、9年が経ちました。当初は、市民の日常生活圏域（人口2万人規模）である文化センター\*圏域に1人ずつ、合計11人のコーディネーターを現行事業と兼務して配置するところからスタートしました。当時は法改正以前でもあり、追い風よりもむしろ向かい風の中、船出した状態でした。

そのような中、平成27年度には厚労省より新たな時代の福祉ビジョンである地域住民の参画のもと誰もが支えあう共生社会を目指すような方向性がはじめて示されました。それを皮切りに、平成28年度には「ニッポン一億総活躍プラン」に地域共生社会の実現が盛り込まれると同時に、風向きが追い風に転じ始めました。行政の福祉関係計画などと歩調をあわせつつ、平成28年度からは地域福祉コーディネーターや生活支援コーディネーターの委託を年度ごとに1名から2名ずつ受託することとなりました。その結果、令和3年度スタート時には文化

センター圏域ごとに1名、合計11名の地域福祉コーディネーターの配置と第1層(府中市全域)生活支援コーディネーター1名と第2層(文化センター圏域)1名ずつ計11名(地域福祉コーディネーターと兼務)の理想的な人員配置が達成でき、令和4年度ではさらに係としての統括を増員し、より充実した体制整備が構築されました。

今回の本報告書は、困りごとを抱えている市民に寄り添った相談を行っている職員の日常の一部を取りまとめたものです。ご一読頂ければ幸いです。

今後とも市民からの様々な相談に対応すべく、アウトリーチや相談支援の仕組みの拡充に注力するとともに、現在推進中の第4次地域福祉活動計画\*、地域共生社会の実現へ向け、役職員一丸となり取り組んでまいりますので、関係者の皆様方の特段のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人 府中市社会福祉協議会  
会長 伊藤 敏春



ふわり

社協マスコットキャラクター

# 目次



## はじめに

### コーディネーターとは

地域福祉コーディネーター	1
生活支援コーディネーター	
コーディネーターの配置状況	
圏域MAP	2
令和4年度コーディネーター相談対応件数	3

### 事例紹介

支援事例①	5
支援事例②	7
支援事例③	9

### わがまち支えあい協議会

わがまち支えあい協議会とは	11
わがまちの具体的な取り組み	13
わがまちの活動支援①	15
わがまちの活動支援②	16
わがまちの活動支援③ ホームページ講座	17

## 市内全域での取り組み

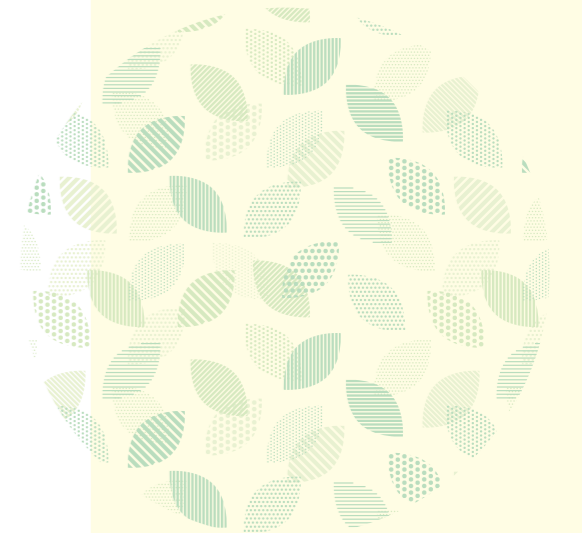
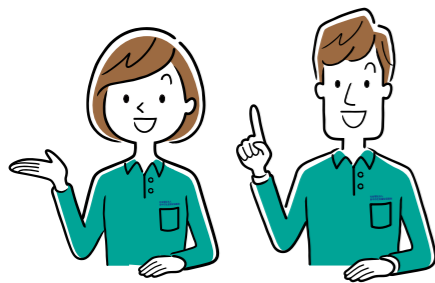
わがまちタウンミーティング	19
困りごと相談会	20
地域なんでも相談員	21
地域のボランティア活動	22
広報誌の発行	23
令和4年度 府中市民地域生活に関するアンケート調査	25

## 資料編

コーディネーター活動実績(個別支援)	27
実相談者数	28
相談者分類	29
相談内容分類	30
コーディネーター活動実績(地域支援)	31
コーディネーターが行った地域支援(わがまち支えあい協議会)	32
地域支援を行った団体	35
生活支援コーディネーター(1層)	
地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーター(2層)	
助成金交付件数	36
出張ボランティア実施回数	37
困りごと相談会対応件数	
外部会議等への出席状況	38
用語解説①	40
用語解説②	41

※文中の「\*」印のついている用語については、P40～41に用語解説がありますので、ご参照ください。

# コーディネーターとは



## コーディネーターとは

### 地域福祉コーディネーター

#### ～個別支援と地域支援、そして関係機関との横断的な連携～

制度の狭間にあるような困りごとを抱えている方の社会的孤立の解消を目的とした、一人ひとりに寄り添った支援（個別支援）や、地域住民が一人ひとりの困りごとを地域全体の課題として捉え、地域住民が連帯意識を持って活動を創り出す支援（地域支援）を行う役割を担っています。

### 生活支援コーディネーター

#### ～地域支援を推進するためのネットワークの構築と協議体の設置～

生活支援コーディネーターは、介護予防・日常生活支援総合事業（以下、「総合事業」という）に位置づけられた専門職で、高齢になっても住み慣れた地域で暮らしていけるよう、住民同士の支えあいの取り組みや、生きがいづくり・自分らしく活躍できるための場づくりを進めていく役割を担っています。

第1層（市全域を対象にした資源開発や協議体の設置）と第2層（中学校圏域：人口20,000～30,000人程度を対象にした具体的な活動の創出）に分かれており、府中市においては、第1層を専従で1名、第2層については地域福祉コーディネーターの役割にもある地域住民同士の活動を支援する「地域支援」という共通の役割もあることから、地域福祉コーディネーターと兼務という形で配置しています。

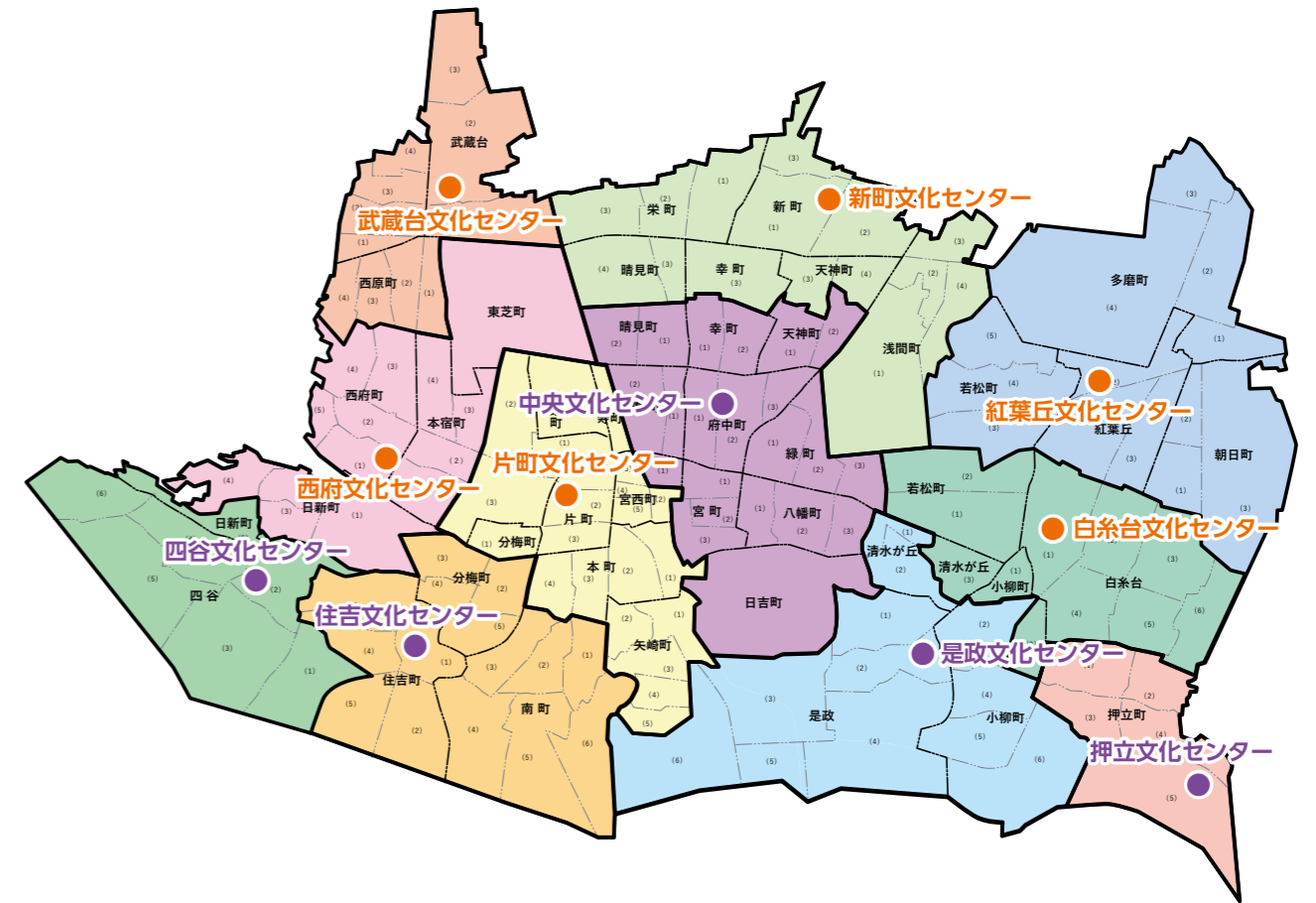
## コーディネーターの配置状況

地域福祉コーディネーターは、府中市社協が推進する第3次地域福祉活動計画（平成27年度～平成32年度）に基づき、11箇所の文化センター圏域を基にした福祉圏域（以下「〇〇文化センター圏域」という）全てにおいて、11名の地域福祉コーディネーターを配置することができました。

令和3年度から新たに開始した第4次地域福祉活動計画（令和3～8年）においては、更なる相談支援体制の強化を目指して、地域福祉コーディネーターの複数配置と、各文化センター内での相談拠点の配置を目標に掲げており、令和4年度は11圏域を統括する責任者を1名配置しました。今後も計画の実現に向け、確実に事業を進めてまいります。

	平成30年度	令和元・2年度	令和3年度	令和4年度
地域福祉 コーディネーター	府中市からの委託による地域福祉コーディネーターの配置			
	押立文化センター圏域	押立文化センター圏域	押立文化センター圏域	統括1名配置
	武蔵台文化センター圏域	武蔵台文化センター圏域	武蔵台文化センター圏域	押立文化センター圏域
	住吉文化センター圏域	住吉文化センター圏域	住吉文化センター圏域	武蔵台文化センター圏域
	紅葉丘文化センター圏域	紅葉丘文化センター圏域	紅葉丘文化センター圏域	住吉文化センター圏域
		片町文化センター圏域	片町文化センター圏域	紅葉丘文化センター圏域
		新町文化センター圏域	新町文化センター圏域	片町文化センター圏域
		白糸台文化センター圏域	白糸台文化センター圏域	新町文化センター圏域
		是政文化センター圏域	是政文化センター圏域	白糸台文化センター圏域
		中央文化センター圏域	中央文化センター圏域	是政文化センター圏域
		西府文化センター圏域	西府文化センター圏域	中央文化センター圏域
		四谷文化センター圏域	四谷文化センター圏域	西府文化センター圏域
				四谷文化センター圏域
生活支援 コーディネーター	府中市からの委託による生活支援コーディネーターの配置			
	第1層1名 第2層4名 (第2層は地域福祉コーディネーター兼務)	第1層1名 第2層6名 (第2層は地域福祉コーディネーター兼務)	第1層1名 第2層11名 (第2層は地域福祉コーディネーター兼務)	第1層1名 第2層11名 (第2層は地域福祉コーディネーター兼務)

## 圏域MAP



### 該当エリアの詳細

圏域	該当エリア
紅葉丘	朝日町、多磨町、紅葉丘、若松町3～5丁目
白糸台	小柳町1・3丁目、清水が丘3丁目、白糸台(車返団地を除く)、若松町1・2丁目
押立	押立町・白糸台(車返団地のみ)
是政	小柳町2・4～6丁目、是政、清水が丘1・2丁目
新町	幸町3丁目、栄町、新町、浅間町、天神町3・4丁目、晴見町3・4丁目
中央	八幡町、日吉町、宮町、寿町1・2丁目、府中町、天神町1・2丁目、宮西町1丁目、幸町1・2丁目、緑町、晴見町1・2丁目
片町	片町、寿町3丁目、日鋼町、分梅町1丁目、本町、宮西町2～5丁目、矢崎町、美好町(3丁目の一部を除く)
武蔵台	北山町、西原町、武蔵台
西府	東芝町、西府町、日新町1～4丁目、本宿町、美好町(3丁目の一部)
住吉	住吉町、分梅町2～5丁目、南町
四谷	日新町5丁目、四谷

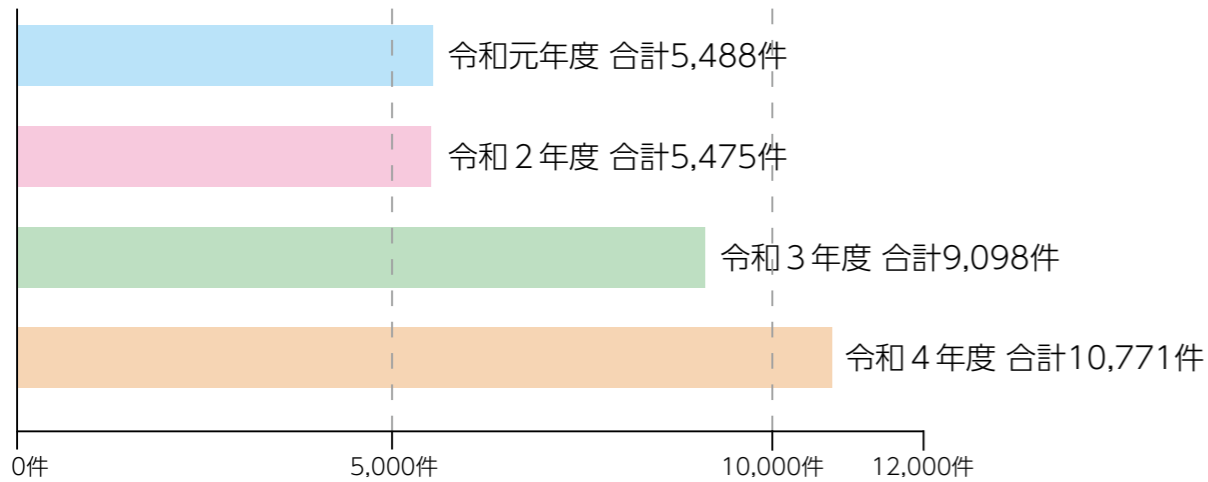
## 令和4年度 コーディネーター相談対応件数

### ① 個別支援 延べ対応件数

※内訳は27ページ参照

相談経路				相談内容		
訪問	電話	メール	来所	関係形成*	個別支援	連絡調整*
2,322	4,866	1,598	1,985	1,200	6,932	3,500
合計 10,771 件				※令和3年度の集計から、相談経路に「メール」を追加		

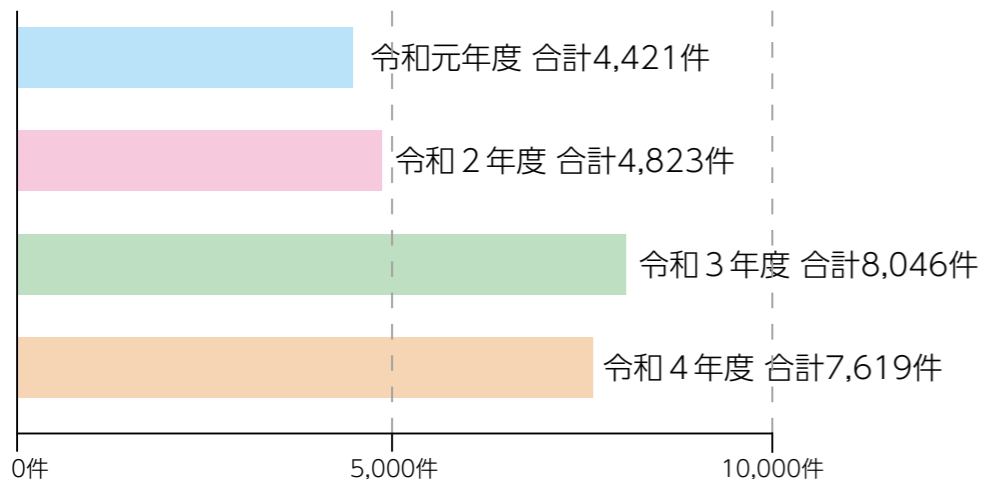
#### 個別支援対応件数の推移



### ② 地域支援 延べ対応件数

相談経路				相談内容			
訪問	電話	メール	来所	関係形成	立上支援	運営支援	連絡調整
2,303	2,121	2,588	607	477	98	5,113	2,586
合計 7,619 件				※令和3年度の集計から、相談経路に「メール」を追加			

#### 地域支援対応件数の推移



※圏域ごとの相談対応件数や、相談内容の分類、その他の実績は 資料ページ (27 ページ、31 ページ) 参照

## 事例紹介



## 支援事例 ①：個別支援から地域支援

### それぞれが支える側・支えられる側に

#### 1.きっかけ

担当地域の民生委員\*より「ご両親を亡くした40代の女性から時折、電話がかかってくる。以前から精神的な波があったようだ。どこにどういった形でつなげるのが良いだろうか?」と相談あり。民生委員がわがまち支えあい協議会（以下、「わがまち」という。詳細は11ページ参照）のメンバーでもあったことから、「まずはちょっとした生活支援（14ページ参照）で関わるのはどうだろう」との話になり、民生委員から本人にコーディネーターやちょっとした生活支援について情報提供。その後、コーディネーターが訪問して本人の状況や今後の希望について聞いた。

#### 2.支援の流れと成果（右図参照）

##### (1)それぞれが地域とつながる

本人、若い頃から精神的な波があったものの、仕事や両親の介護などを行ってきた。が、最近、母が死去。以降、不安感が強まったとの話あり。いまだ悲しみの中にいるものの、「このままではいけないと思っている。落ち着いたら社会に出たい」と話し、可能であれば週2～3日、働きに出たいとの希望も聞かれた。社会に関わる機会の第一歩として、ちょっとした生活支援の利用を提案。庭木が道路側に伸び、通行する車や人の邪魔になっているのでは?と本人が心配していたため、剪定を行うこととなった。

同時期、コーディネーターが参加したフレイル予防講習会\*で、参加者から「近所の研修所（外国人技能実習生\*受け入れ団体事務所）で何かできないか?」との相談あり。参加者3名から、それぞれ料理・折り紙・読み聞かせができるとの話があったため、研修所代表に相談。「実習生が生の日本語を学ぶ機会になる」と賛同され、交流会の開催が決まった。

本人宅訪問の数日後、民生委員を含めたメンバー数名でお手伝いを実施。終了後、本人よりコーディネーターに「どこか人と関わる場所に出たい。どこかないか?」との相談あり。交流会が2週間後に開かれることを案内。ちょっとした生活支援で訪れたわがまちメンバーの1人が研修所代表であったこともあり、参加を希望された。

##### (2)顔を出すことで、次につながる

実習生とフレイル参加者の交流会に、本人が開始時間に少し遅れて参加。民生委員が同行。フレイル

参加者の3名は、順に自分の特技を実習生に教える形で交流。実習生に折り紙を教え始めると、本人も横で一緒に折り始め、後半はリラックスした様子が見られた。

途中、コーディネーターから研修所代表に、本人が書道ができることを伝えたところ、「是非、実習生に教えてほしい」との話あり。本人に話をすると、「張り合いになる」と前向きな回答が得られた。

##### (3)できることで、社会に参加

本人に実習生相手に講座を行うことについて、改めてコーディネーターから意向を確認。コーディネーターから「ペースが速すぎるようであれば、数か月先に訪れる次の実習生の時でも良い」と伝えしたが、本人は「この間、顔を合わせた実習生のほうが良い。とにかく1回やってみます」と話し、「やめる」との発言は最後まで聞かれなかった。当日は民生委員が同行。50分ほどの講座をやりきることができた。後日感想を聞いたところ、「思ったより和気あいあいとできた。でも、毎回と言われると無理かも」と本人。かなり疲労したようだが、充実感を感じられる声だった。

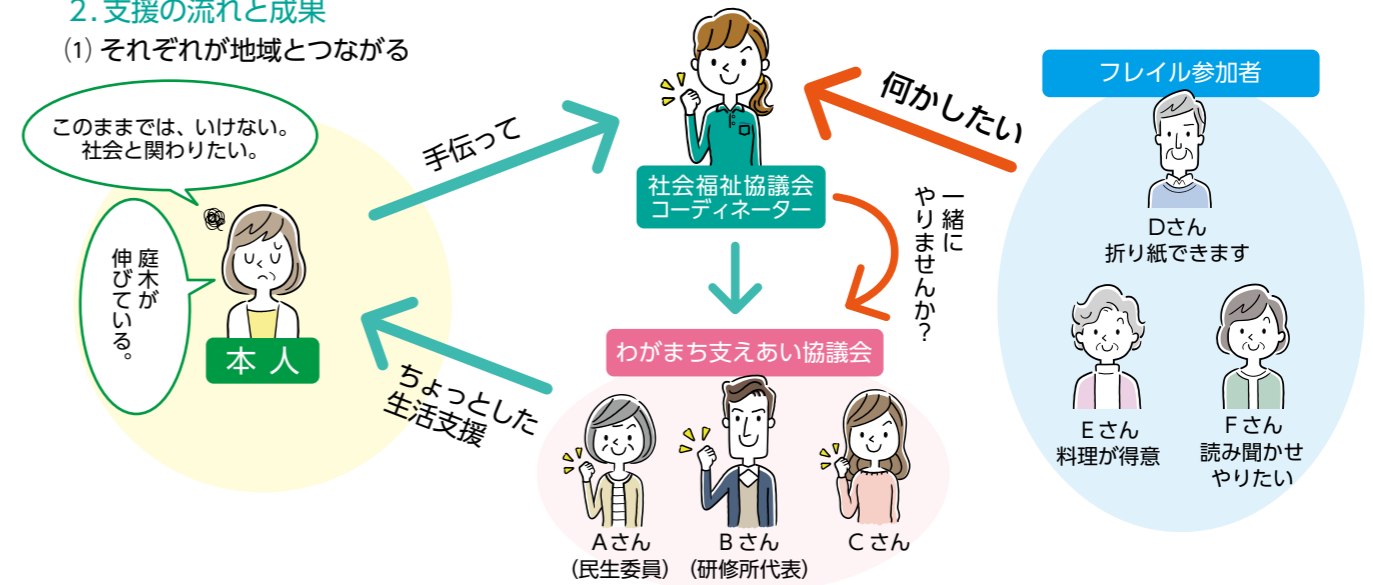
交流会開催後、研修所代表に連絡。フレイル参加者の一人から「畑の手入れを手伝ってほしい」との相談があり、実習生と共に対応。実習生とフレイル参加者との交流が続いていた。

#### 3.今後に向けて

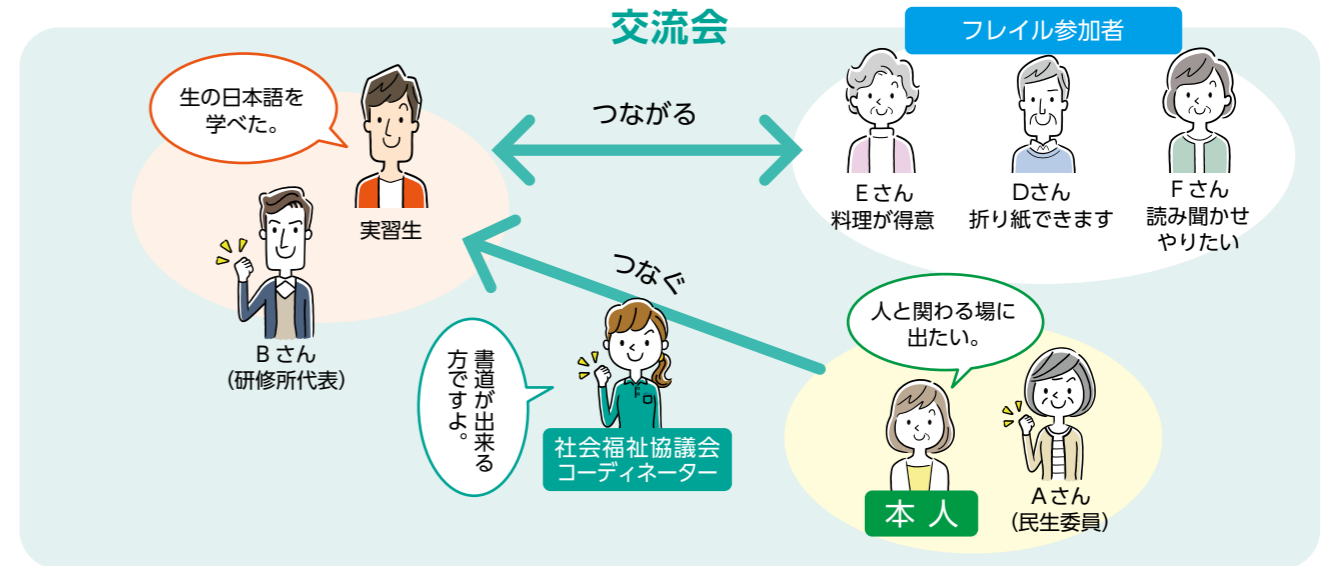
それぞれが「高齢だから」「精神面に波があるから」とマイナスな部分に目を向けるのではなく、自分ができることは何なのかを模索し、活動につながった。無理がきかないため定期的な開催には至っていないが、フレイル参加者からも本人からも「またやれたら」との発言が聞かれている。民生委員や研修所代表がわがまちメンバーだったこともあり、その後、近所で顔を合わせると互いに声をかけあう関係性も築けた。身近な地域に顔見知りを作ることが孤立を防ぐという良い一例になったのではないかと。今後もそれぞれが関係性を切らすことなく、また、時間もかかっても次の活動につながるよう働きかけていきたい。

#### 2.支援の流れと成果

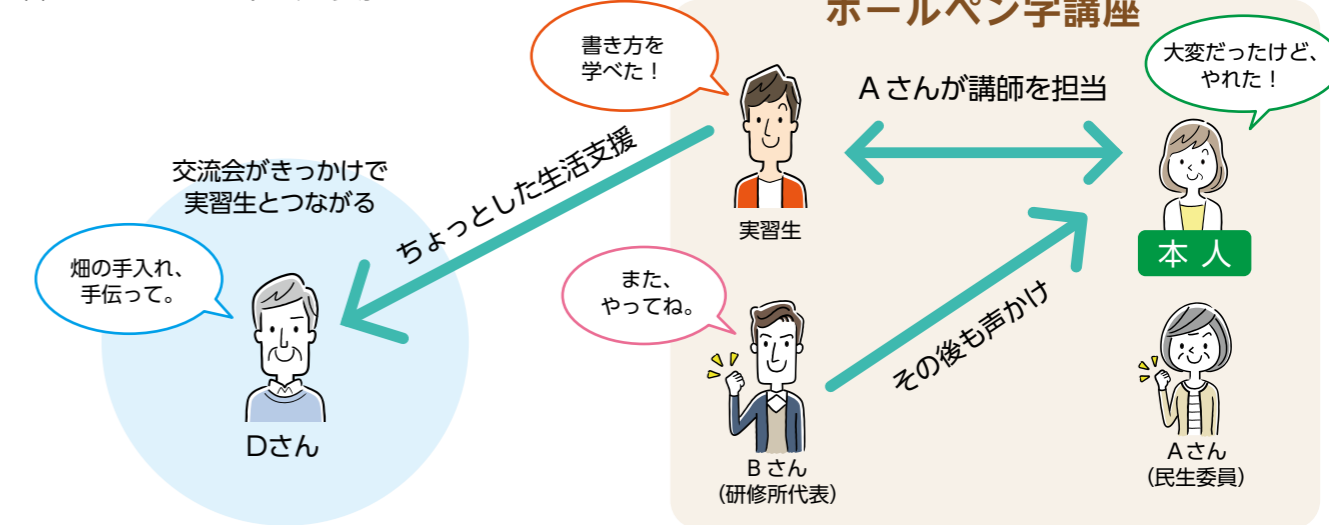
##### (1)それぞれが地域とつながる



##### (2)顔を出すことで、次につながる



##### (3)できることで、社会に参加



## 支援事例 ②：個別支援から地域支援

### ゴミ屋敷で身動きがとれない50代男性への支援

#### 1. きっかけ

困りごと相談会（20ページ参照）に近隣の方が来会し相談。「当事者宅の家の庭木が伸び切って、電線をくぐり抜けている状態で困っている。50代の兄妹2人暮らし。両親はおそらく亡くなっている。実は同級生なので、匿名での相談をしたい。」

この地域に長年住んでいる方なので同じ通りに住む自治会の班長が面識あり、心配してたまに声をかけている。班長を通じて、本人に介入できないか探ってみることとなる。

#### 2. 支援の流れと成果（右図参照）

##### (1) 関係形成

近隣の方の仲介もあり、班長とつながることができ、自宅と一緒に訪問し本人と話ができる。

本人は、問題意識はあるが金銭的な問題や心身の不安定が重なり、何をしたいか全く分からず身動きがとれなくなっている状態だった。土地を売って、生活を立て直す意欲はあるが、妹と意見が割れていて、関係が悪いと話ができないといったことも聞き取れた。

その後、月1回程度で訪問し関係形成を行う。わがまちでフードパントリー\*の活動が動きだしたため、本人に情報提供すると「利用したい」とのこと。食料を取りに行くことができ、自宅訪問以外でもコンタクトが取れるようになる。

##### (2) 関係機関へのつなぎ

やりとりから就労の意欲を把握できたため、本人に促し市役所生活福祉課の相談窓口にてコーディネーターが同行する。月1回程度の面談を設けることになる。その後、面談にて「滞納税があるため自宅が差し押さえになり、競売にかけられることになった。」と相談あり。納税課に同行し任意売却の意向を伝え、条件を確認し再度スケジュール立てを行う。

その後、現状について本人から社協へ妹と話ができたこと報告あり。今まで、実態が掴めなかったが妹も身動きとれない状態だったとのこと。妹を含め関係機関で集まり自宅売却と転宅までの方針を確認。

##### (3) 伴走支援\*

売却の話は順調に進んでいたが、自宅探しで問題あり。

本人は保証人、定期収入がないため不動産屋から物件を紹介してもらえず、早急に社協の住宅セーフティネット住まい相談事業\*につなぎ探ることとなった。

自宅売却がスムーズに進み滞納税については清算。住宅セーフティネット住まい相談事業を通し、いくつか紹介していただいた物件の審査が通り、市内のアパートに転居先が決まる。

自宅のゴミ屋敷の処分についてはそのまま買い取っていただく交渉をしていたため不要。引っ越しについては、最低限の荷物だけ持ち引越の手配等は本人ですべて行い無事に転宅を終える。

#### 3. 今後に向けて

転居後に本人、関係機関、転居前・転居後のエリアの担当者を集め話し合いを実施。現状の生活を確認し、今後の支援方針組み立てと役割分担を実施している。

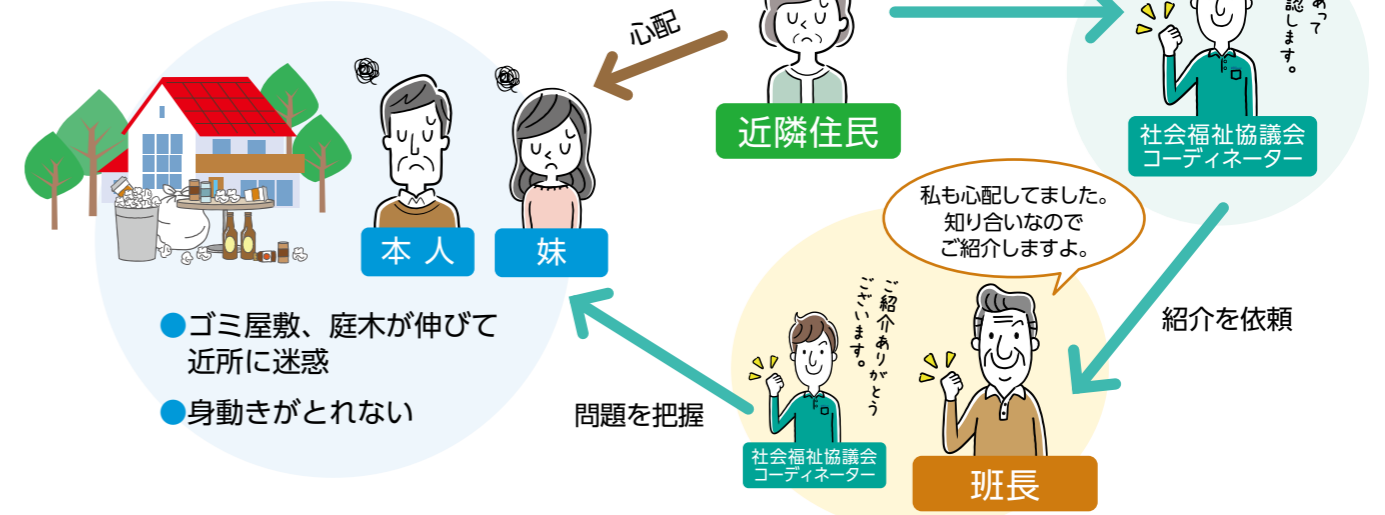
今後の課題となってくる財産分与、確定申告等の手続き、また貯金がなくなる前に定期的な収入を得るため就労などの生活課題は、生活福祉課の家計相談\*と就労準備支援\*が当面関わり継続支援を行う。

コーディネーターとしては、また地域で同じ状態にならないよう地域活動への参加の促しや、地域なんでも相談員\*の見守りを定期的に行うなど定点での状況観察と地域での見守り体制をつくっていきたいと考えている。

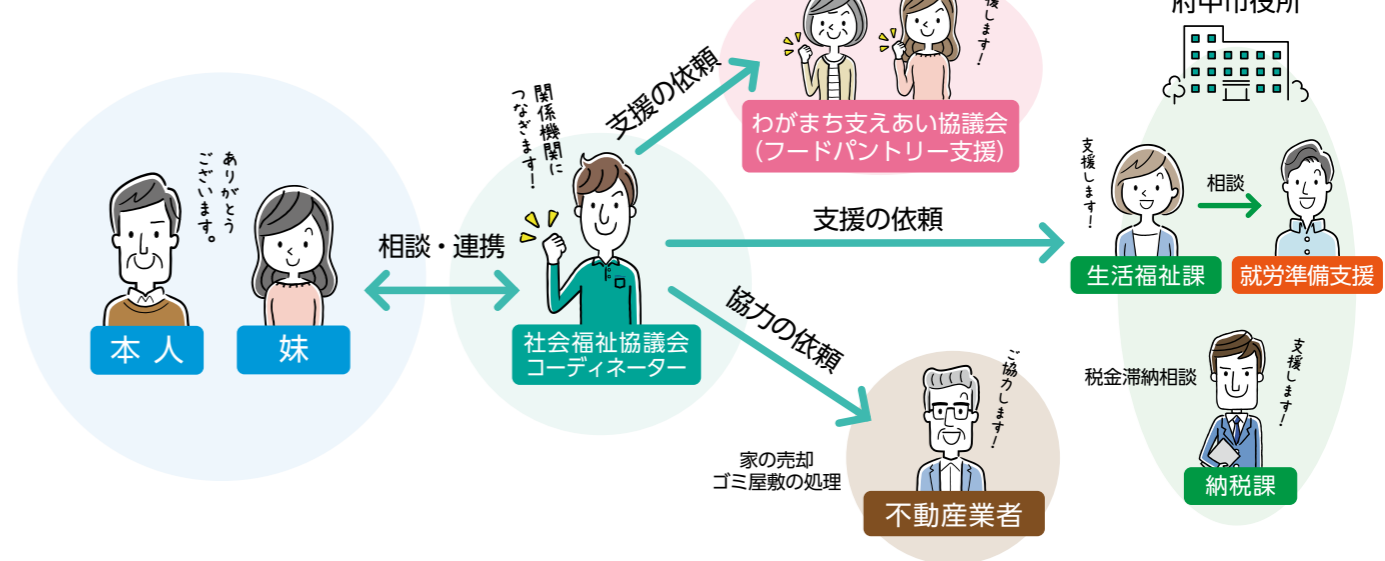


#### 2. 支援の流れと成果

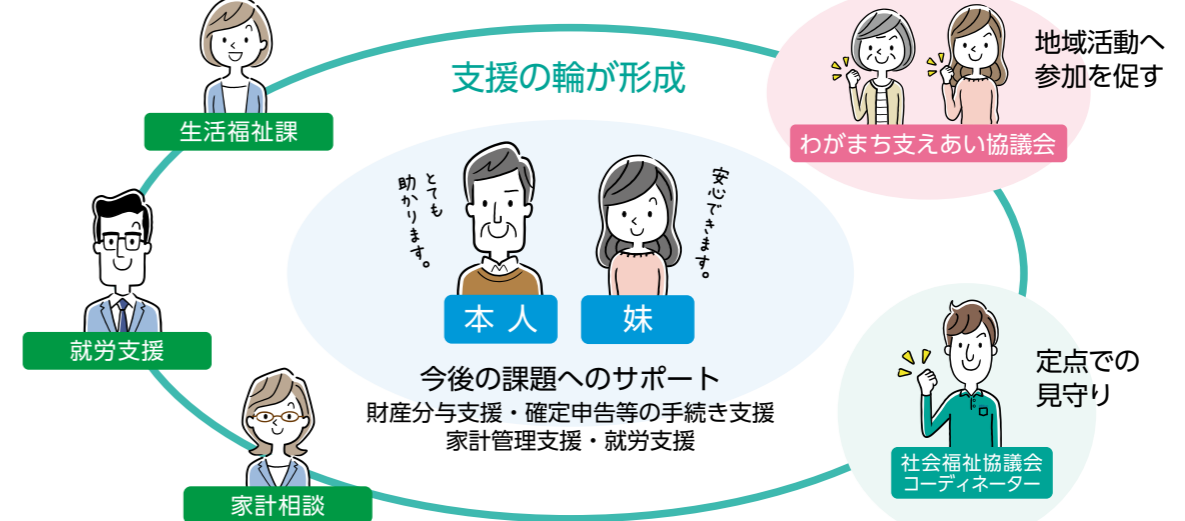
##### (1) 関係形成



##### (2) 関係機関へのつなぎ



##### (3) 伴走支援・今後



## 支援事例 ③：個別支援から地域支援

### ライフラインがストップしている兄弟

#### 1. きっかけ

自治会役員Aさんから、「集合住宅の共同水道を使用し、からだを洗っていたり、共有部分に排尿して臭いと近所から話があった。水道メーターはゼロで、夜に電気もついていないので、ライフライン\*が途絶えているのかもしれないと心配。自治会では世帯状況把握していないが、弟がいる様子。本人に声をかけたいと思うが、どう関わったらいいか、一緒に関わってもらえないか。」と相談が入る。

#### 2. 支援の流れと成果 (右図参照)

##### (1) 関係者のネットワークづくり

Aさんと訪問するが、兄弟には会えず。自治会長Bさんから話を伺う。「現在は兄弟で住んでいて、自治会費の支払いはきちんとしているが、6年くらい前から電気はとまっている、水道もとまっていると思う。兄が外で転倒した際に、発見した住人が救急車を呼んだこともある。知人を通じて行政に確認すると関わりがあるとの話だった。」との情報を得る。コーディネーターが行政へ確認。兄には精神と知的障害、弟にも知的障害(いずれも手帳\*なし)があり、ライフラインは数年前からとまっているが、現状の生活に慣れてしまっていること、また自宅訪問への拒否が強く改善できていないということを知る。この兄弟に関わっている機関でケース会議\*の開催を提案した。会議にて情報共有、今後の方向性について、役割分担、コーディネーターが今後関わっていくところを確認した。民生委員を介して、兄弟には会うことができたが、拒否が強かったので、すでに支援している機関から、「コーディネーターも相談にのってくれる人」と説明してもらい、つないでもらうこととした。Aさんからは、その後も水道が出ないのが心配、関わっているところがあるのに、なせすぐに使えるようにならないのかといった声もあがった。関係を築いているところ、時間を要することへ理解いただけるよう説明した。兄弟は、近くにある地域包括支援センター\*にも相談に行っており、包括とも情報を共有した。

##### (2) 兄弟との関係形成

社協も相談できる場所と少しずつだが認識され、書類の内容などを聞きに来所できるようになる。自治会活動の草取りに参加できないこと、自宅は片

付いていないので出ていけと言われるのではないかと不安なため訪問が嫌なこと、お金のことなど困りごとを話してくれるようになった。兄の歩行状態が悪くなり、社協より車いすの一時貸出を行った。弟が車いすを介助して来所し、ふれあい会館のトイレも利用するようになっていたが、水道はまだ復旧できず、外での排尿行為も続いていた。Aさんからは、車いすを使用している姿をみて、コーディネーターとの関わりが続いており安心したとの声を聞いた。今後も何か情報あればコーディネーターに連絡してほしいことを伝えた。

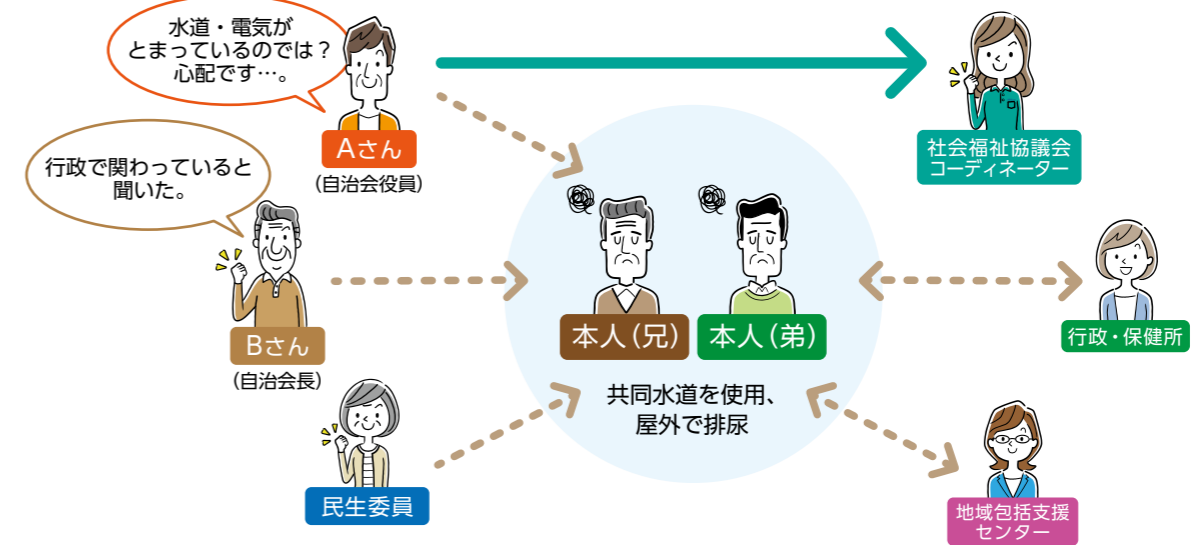
##### (3) 水道が開通、相談関係が確立

他機関も含めて重ねての働きかけが功を奏し、水道を開通することに同意を得られた。手続きに関しては、コーディネーターが同行してフォロー、弟は開栓時に家に入られるのではないかと不安がぬぐえない様子だったが、無事に開通でき、その日のうちに兄弟でお礼を言いに来所。Aさんからは、「草取りにも参加されるようになった、目をみて話すこともできた。問題行動もなくなったので家のトイレを使っているのだろう、電気も通るともっといいと思う。」との報告あり、今後もゆるやかに見守っていただくようお願いした。その後は、兄弟ともに手帳を取得、兄弟そろって作業所\*への通所へもつながっている。ガス、電気はまだ開通していないが、コロナワクチンの予約など困ったとき、わからないことがあったときにコーディネーターの元に来ることが定着している。

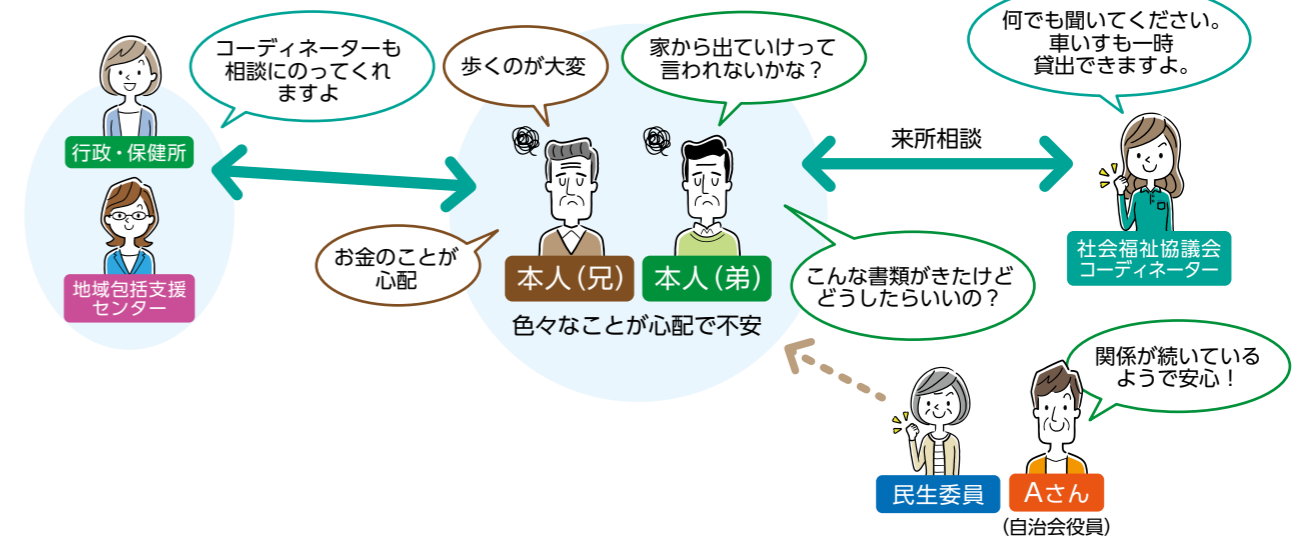
#### 3. 今後に向けて

地域住民からの声、本人の困りごとに行政等と協力し、制度だけでは対応できない部分についても関係者で役割を分担して支援していくことができた。今後、障害から高齢へと利用する制度は変わっていくが、コーディネーターが関わり続けていくことで、制度の切れ目なく関係機関と必要時に連携を取り、地域住民とともに地域で暮らし続ける兄弟を支えていきたい。

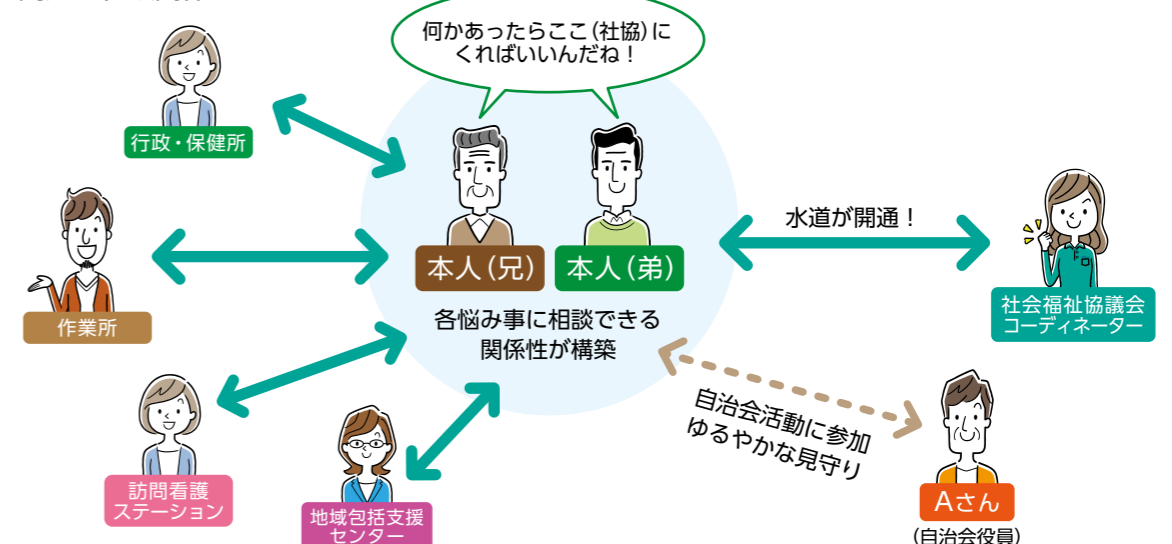
#### 2. 支援の流れと成果 (1) 関係者のネットワークづくり



#### (2) 兄弟との関係形成



#### (3) 水道が開通、相談関係が確立





# わがまち支えあい協議会

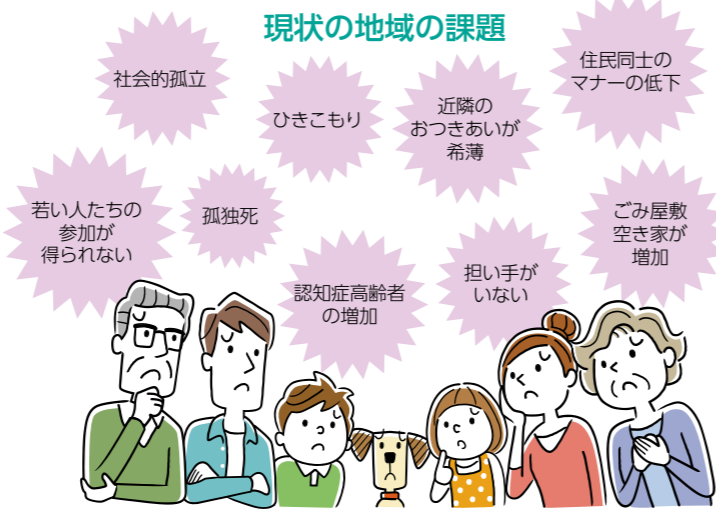
## わがまち支えあい協議会とは

### ●立上げを目指すに至った背景

平成26年度に小地域懇談会\*での話し合いや、アンケート等を実施し、地域のさまざまな困りごとがわかってきました。(右図)

その中には、公的な制度では解決が難しい困りごともありました。

誰もが安心して自分のまちで暮らすためには、こうした個人の困りごとを「我が事」として捉え、一人ひとりの困りごとに寄り添い、解決に向けたしくみづくりが必要です。



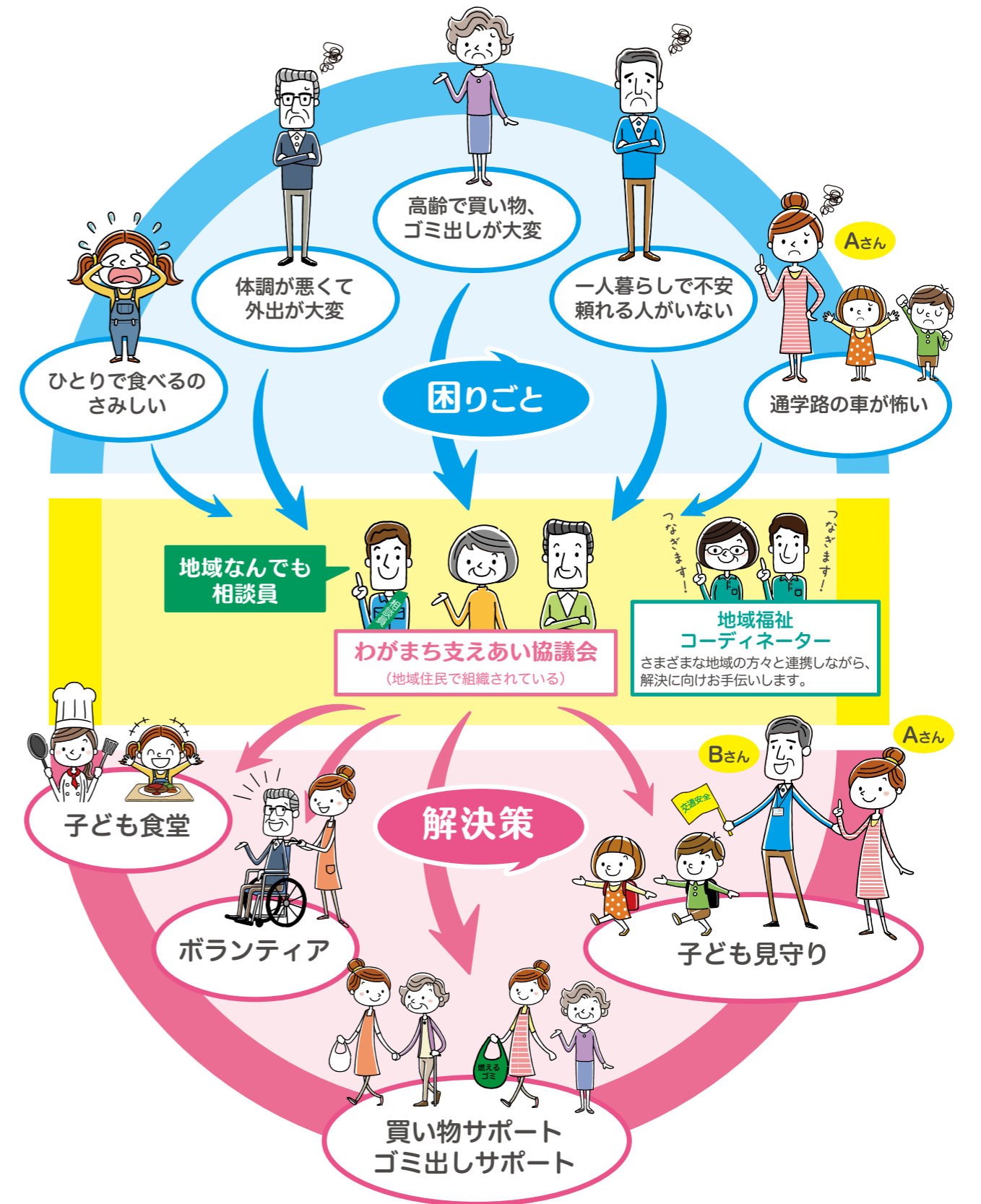
わがまち支えあい協議会とは、住民の皆さんのより身近な生活圏域の中で、住民自らさまざまな困りごとに気づき、共有し、一緒に解決していくしくみです。

### ●文化センター圏域ごとの立上げ支援の経過

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
押立文化センター圏域 (車返団地含む) ※モデル地区	立上げ支援 平成28年4月設立					運営支援	
四谷文化センター圏域	立上げ支援		平成30年4月設立			運営支援	
住吉文化センター圏域	立上げ支援			平成31年4月設立		運営支援	
中央文化センター圏域	立上げ支援				令和2年4月設立	運営支援	
是政文化センター圏域	立上げ支援					令和2年6月設立	運営支援
紅葉丘文化センター圏域	立上げ支援					令和3年4月設立	運営支援
白糸台文化センター圏域	立上げ支援					令和3年4月設立	運営支援
新町文化センター圏域	立上げ支援					令和3年4月設立	運営支援
片町文化センター圏域	立上げ支援					令和3年4月設立	運営支援
武蔵台文化センター圏域	立上げ支援					令和3年4月設立	運営支援
西府文化センター圏域	立上げ支援					令和3年4月設立	運営支援

## ●わがまち支えあい協議会のしくみ

より身近な生活圏域の中で、地域住民や地域の様々な団体が自らの「困りごと」に気づき、それを我が事として共有し、解決していくしくみです。



※各わがまちの活動については [次ページへ](#)

# わがまちの具体的な取り組み（令和5年3月末時点）

## ①「食」を通じた取り組み

食べるものにお困りの方へ、フードドライブ\*やフードパントリーなど、食の支援を行っています。フードドライブとは、ご家庭などで余っている食品の寄付を集める活動です。フードパントリーとは、食べるものにお困りの方へ食品をお届けする活動です。食を通してつながることを目的に活動しています。



### 取り組みをしている圏域

紅葉丘・白糸台・押立・是政・新町・中央・片町  
武蔵台・西府・住吉・四谷



## ②居場所・交流

高齢者も子どもも障害のある方も、どなたでも参加できる地域の居場所です。住み慣れた地域の中で孤立することなく、生きがいを持ち安心して暮らしていくための交流の場です。



### 取り組みをしている圏域

紅葉丘・白糸台・押立・是政・新町・中央  
片町・武蔵台・西府・住吉・四谷

## ③子どもの見守り

登校時や下校時、交通量の多い道などで旗を振り、子どもたちが安心して通行できるように見守りをしています。また、放課後の見守りや、学童クラブからの帰宅に同行するなど、地域で子どもたちを見守っている活動です。



### 取り組みをしている圏域

紅葉丘・白糸台・押立・是政・新町・西府・住吉・四谷

## 地図上にあるマークの説明

地図にあるマークは各文化センター圏域で行われている地域活動を表しています。ご参考になさってください。

- ♥ 「食」を通じた取り組み
- ♠ ちょっとした生活支援
- ♣ 居場所・交流
- ♦ PR・その他
- ★ 子どもの見守り
- ※ 令和5年3月末現在



## ④ちょっとした生活支援

電球交換やゴミ出しなど、公的サービスでは難しい、住民同士でできる30分程度のちょっとしたお手伝いです。活動を通して顔見知りになり、地域のつながりを作っていくことが目的です。



### 取り組みをしている圏域

紅葉丘・白糸台・押立・是政  
新町・中央・片町・武蔵台  
西府・住吉・四谷



世代を超えて  
顔見知りになり  
活動していきます！



## ⑤PR

その他の活動として、地域活動をより多くの方に知っていただくために地域清掃やチラシ配布するPR活動をしています。



### 取り組みをしている圏域

紅葉丘・是政・片町・四谷・新町・西府

## ⑥その他

住んでいる地域を知るためのまち歩きや、子どもたちと花壇にお花を植える子どもボランティア体験などがあります。また、防災講座や企業とタイアップした食育講座なども行っています。



### 取り組みをしている圏域

是政・押立・四谷

## わがまちの活動支援 ① ささえあい四谷

### 学校や生徒と地域のつながりづくり

#### ●困っていたこと

- ・学童クラブ後の小学生の見守りをしているが、学校とのつながりや関係が強くない。
- ・地域の中で子どもたちと一緒に活動したい
- ・(学校側) 学校の花壇を何とかできないだろうか。



#### ●コーディネーターの動き

- ・小学校へささえあい四谷の活動を紹介し認知していただけるよう働きかける。
- ・学校側の課題をわがまちに提案し、双方のニーズをマッチングした。

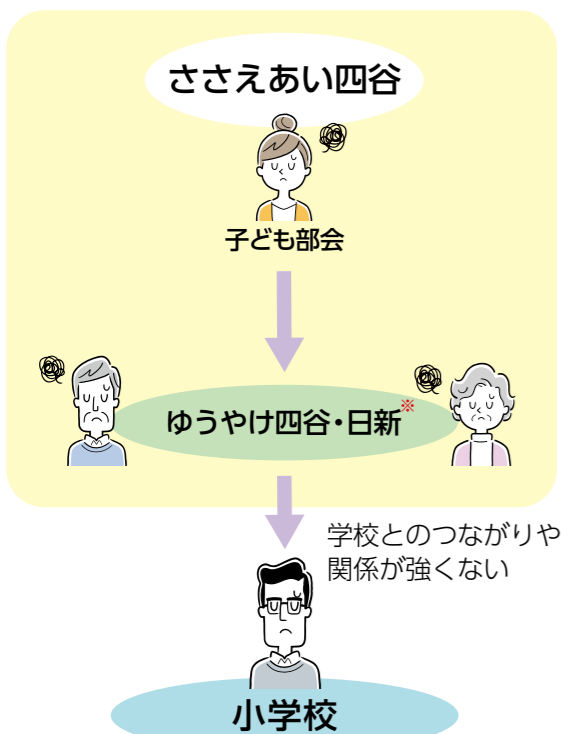


#### ●新たに生まれた活動・解決できた課題

- ・地域の小学校とわがまちとの関係性の構築。
- ・子どもボランティア体験の活動が立ち上がった。
- ・小学校の花壇づくりに地域住民が参加協力し小学校と地域がつながった。

### コーディネーターが介入して活動支援

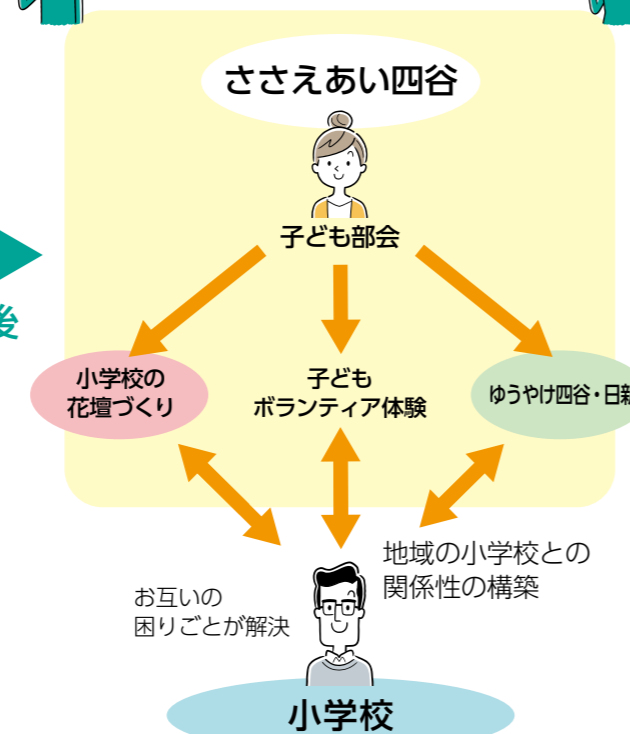
#### ●コーディネーターの介入前



※学童クラブからの帰宅同行



#### ●コーディネーターの介入後



## わがまちの活動支援 ② 食に関するわがまち活動の支援

### 地域の方、フードバンク、企業との調整を担う

#### ●困っていたこと

- ・わがまちで食に関する活動を行うエリアが増え、食料を保管しておく場所が必要になった。
- ・フードパントリー開催に向けて、思うように食料が集まらず、配布量が足りない時がある。



#### ●コーディネーターの動き

- ・食料倉庫を募集していることを、全市的に広報し、協力頂ける方を募った。
- ・倉庫の貸出協力について、連絡があった方との、連絡調整や、交渉を行った。
- ・フードバンク府中と打合せを行い、定期的に提供頂けることになった。その後も毎月、連絡調整を行っている。
- ・提供希望を頂いた企業との連絡調整を行った。
- ・企業からの問い合わせがあり、店舗にてフードドライブを実施してもらえることになった。
- ・フードドライブに関する協定書締結に向けて、企業との調整を行った。

#### ●解決できたこと

- ・食料の保管場所を確保することができた。
- ・保管場所を確保できたことにより、寄贈品の受取りや、整理把握がしやすくなった。
- ・団体や企業との連携により、食料が集まるようになり、わがまちの活動に役立てられるようになった。
- ・食の支援を通じて、困りごとを抱えていた方とわがまち、コーディネーターが関わり、困りごとの解決に向けて、支援できる体制ができた。

### コーディネーターが介入して活動支援



わがまち主催のパントリー



借りている食料倉庫の様子

## わがまちの活動支援 ③ ホームページ講座

**概要説明** 活動に関わる人を増やすことで地域福祉全体が活発になることを目指し、企画。令和4年度は広報に力を入れ、市内11か所のわがまち支えあい協議会すべてでホームページを開設することを目指し、講座を開催した。

### 令和4年度 ▶ ホームページ講座開催実績

第1回：29名 第2回：26名 第3回：25名  
第4回：24名 第5回：24名 第6回：21名



講座専用のテキストで、手順を学びました。



### 参加者の声

- テキスト通りにやっているとホームページが出来上がり、驚いた。
- 操作方法はなんとなく分かったので、自分たちの会のホームページの構成を考えていきたい。
- 出来上がったホームページをたくさんの人に見てもらいたい。



社協のホームページからも、各わがまち支えあい協議会のホームページを見られるようになりました。

府中市社会福祉協議会ホームページ  
「わがまち支えあい協議会」  
<https://www.fsyakyo.or.jp/wagamachi.html>  
右記2次元バーコードよりアクセスできます▶



①わがまちありすの会  
～朝日・多磨・紅葉・若松～



②ささえあいの会  
～白糸台・若松町・清水が丘・小柳町～



③わがまち支えあいの会  
～小柳・是政・清水が丘エリア～



④押立・車返ささえあい協議会



⑤新町ささえあいの会



⑥中央ささえあいの会



⑦かたまち支えあいの会



⑧武蔵台・北山・西原ささえあいの会



⑨にしふエリアささえあいの会



⑩住吉・分梅・南町ささえあい協議会



⑪ささえあい四谷



それぞれの2次元バーコードから各わがまち支えあい協議会のホームページへアクセスできます。



## 市内全域での取り組み



## わがまちタウンミーティング

**概要説明** 住民同士の支えあいを推進するため、市内全域での情報の共有や、学習の機会、つながりの機会として年に2回開催している。

### 第1回 わがまちタウンミーティング（令和4年 8月20日）

#### ●テーマ

#### 「わがまち懇談会」

（会場開催 2部制）参加者：1部26名 2部33名 計59名



#### ●目的・内容〈わがまち活動者の交流〉

全エリアのわがまちが立ち上がり、1年経過したことから、各エリアのわがまちの活動が充実し、より発展していくための、情報交換の機会として開催。

事前アンケートの回答より、PR方法について他のわがまちに聞いてみたいとの声が多く、PR活動の事例を3つの動画で紹介し、懇談の時間を設け、グループに分かれ意見交換や情報交換を行った。

#### ●参加者の声と成果

- ・他エリアのわがまちの活動を参考にしていきたい。
- ・わがまち同士で連携ができればいいな。
- ・他のわがまちに勇気をもらった。自分たちも頑張ろうと思った。

**〈成果〉** 各エリアのわがまちで活動している者同士が交流することにより、士気が高まり、新たな取り組みに発展するきっかけとなった。他エリアのわがまちの活動を参考に今後について考える機会となり、さらにはわがまち同士のネットワークづくりの一環ともなった。

### 第2回 わがまちタウンミーティング（令和5年 2月25日）

#### ●テーマ

#### 「地域デビュー 入門セミナー ～お互いさまのまちづくりを広げよう～」

（会場開催 2部制）参加者：1部47名 2部25名 計72名



#### ●目的・内容〈活動紹介とマッチング〉

各わがまちが活動を行っている中で、協議体や活動体への新たな参加者、担い手の確保が共通の課題となっている。地域で初めて活動することを検討している方とわがまちを繋ぐことを目的に開催。

身近な地域で活動しているわがまちの活動を動画で紹介。わがまちの活動者、興味のある方が各エリアごとに分かれ、活動について活動者からの説明や質疑応答を行い、交流する機会とした。

#### ●参加者の声と成果

- ・実際に活動されている方から話を聞き、人柄にふれられて良かった。活動に参加してみたいと思う。
- ・長年暮らしている自分の地域に、こんな活動をされている方々がいることを知って、大きな収穫となった。

**〈成果〉** 府中市民地域生活に関するアンケート調査（25ページ参照）を活かし、わがまちの活動に協力できると答えてくださった方に案内を送付、多くの方に参加していただくことができた。活動者に直接話を聞くことで活動のイメージが膨らみ、その後に繋がりやすい環境づくりができた。活動者側がこれから新たな方を受け入れる体制、意識ができるきっかけとなった。

▶令和4年度は感染予防を徹底し対面で実施することができた。コロナ禍でも、工夫をしながらできる活動を続けてきたわがまちの活動者同士や地域活動に興味のある方が直接対面での交流を通して、地域に対する意識を高め合い、今後の活動に結びつくものを得ていただくことができた。

▶地域活動の普及啓発やさらなる活動の拡充に向けて、タウンミーティングでは、新たな担い手の発掘となるよう、市民の多くの方に地域の支えあいの取組を知っていただき、地域へ繋げる場としていく。また、各エリアのわがまちが発展していくために活動者同士の交流を通して、活動のモチベーションや新しいアイデアが生まれるような企画をしていきたい。



## 困りごと相談会

**概要説明** 身近な地域で、「どこに相談したらいいかわからない」「誰かにきいてほしい」といった、ちょっとした暮らしの心配事などを相談できる場所として「困りごと相談会」を各文化センターで毎週開催している。平成28年11月に押立文化センター圏域と武蔵台文化センター圏域ではじまり、令和3年度には11か所すべての文化センター圏域において開催。また、令和4年2月から新町文化センター圏域、令和4年11月から住吉文化センター圏域、令和5年2月から武蔵台文化センター圏域の開催日数が週3回に増え、今後も各文化センター圏域において回数を増やしていく予定。

### 令和4年度 ▶ 困りごと相談会開催実績

開催回数 863回 相談件数 1,832件

※詳しくは資料ページを参照

### 「困りごと相談会」からつながった例の紹介



相談の例 ①

最近、スマートフォンを購入したが、メールの送り方がわからない。



相談の例 ②

最近、姿を見かけない近所の高齢者がいて心配。



相談の例 ③

ボランティアをしたいけれど、どんなことができるのか知りたい。

状況確認のため訪問。

どんなことをしたいのか聞き取り。

地域包括支援センター主催のスマートフォン講座を紹介。

地域包括支援センターに情報共有。

聞き取った内容をもとに、地域のボランティア情報をお伝え。ボランティア・協力会員入門研修(22ページ参照)を紹介。

その後も、困ったことがあると、相談会に来会するようになった。

相談員が定期的に訪問し、見守りを続けている。

研修に参加、わがまち支えあい協議会で活動している。



## 地域なんでも相談員

**概要説明** 「地域なんでも相談員」は、平成28年度から活動しており、地域のちょっとした気になること・心配事などをコーディネーターやわがまちへとつなぎ、解決に向けて一緒に考えていく役割を担っている。

### 地域なんでも相談員に関わる活動

●**地域なんでも相談員養成研修\***  
年に一回開催。相談員に登録するための研修。  
内容) ①地域なんでも相談員の役割・傾聴講座 ②一人の困りごとから地域での支えあいを検討 ③地域のわがまちへの参加 ④地域なんでも相談員登録説明



●**連絡会**  
各エリアのわがまちが取り組んでいる活動の共有やテーマ学習、相談員同士の日頃の活動の共有や交流等を図ることで、相談員としての活動の幅を広げるために行う。

●**困りごと相談会**  
相談対応の研鑽と実践の場として、市内の文化センターで行われる相談会で対応をする。

●**見守り・声かけ**  
コーディネーターが関わる地域で孤立しがちな方を対象に、相談員が定期的に見守り・声かけの活動を行う。

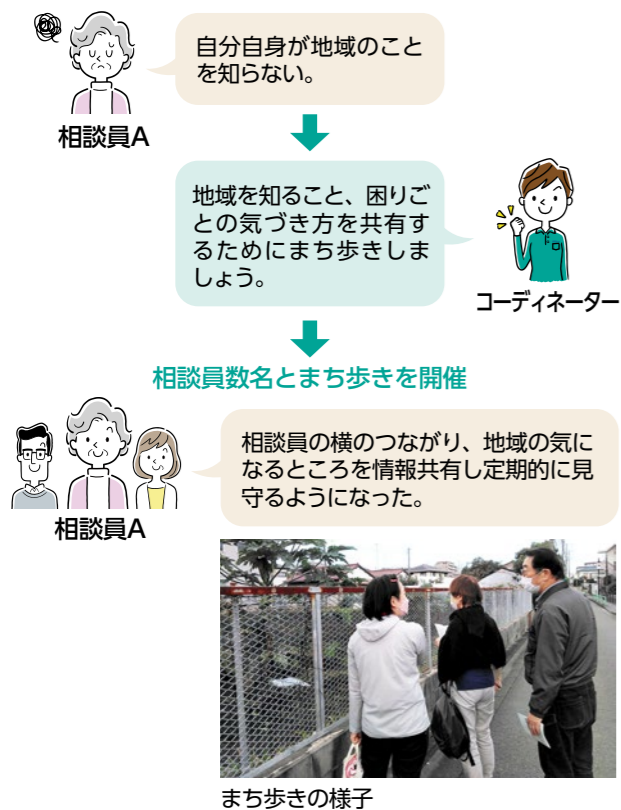
●**ふわりまち歩きシート**  
日常生活の中で気づいた地域の困りごとや、地域資源\*を記録し、次の活動につなげることを目的とした地域情報シート。



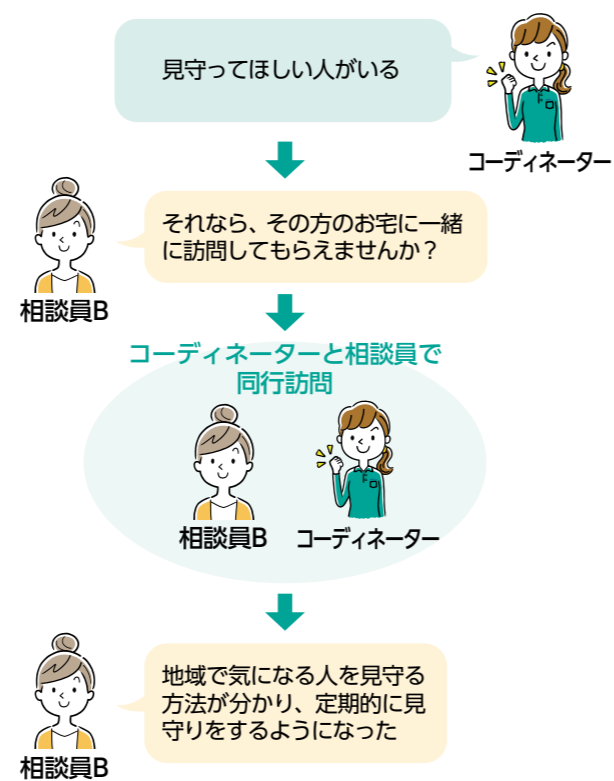
令和4年度 地域なんでも相談員養成研修新規登録者：22名 登録者合計：159名

### 地域なんでも相談員の活動

#### ①白糸台まち歩き



#### ②個別の見守り



## 地域のボランティア活動

### ●ボランティア・協力会員入門研修

「ボランティア（無償）」「在宅福祉助け合い事業の協力会員（有償）\*」として活動をはじめるとあたって必要な基本事項を学ぶ研修会。

### ●出張ボランティア教室

福祉教育\*の推進を目的に、市内小中学校や自治会、諸団体等を対象に福祉体験教室を出張で行っている。市内の福祉施設から地域公益活動\*の一環として、ご協力を得ながら実施している。

### 令和4年度 ▶ ボランティア・協力会員入門研修実績

22回 103名  
定期開催：12回 参加者：92名 協力会員登録：40名  
臨時開催：10回 参加者：11名 協力会員登録：9名

### 令和4年度 ▶ 出張ボランティア教室実績

福祉体験機器の貸出：56回  
車イス体験、ガイドヘルプ\*体験など（学校等での体験は中止）：8回 660名  
その他 手話・点字指導者、講師の派遣など：16回 1,681名

## 地域の居場所づくり（ふれあいいきいきサロンなど）の支援

**概要説明** 地域住民が主体となり、地域の高齢者や障害者（児）、子育て中の親子等を対象に、身近な場所で定期的に地域活動を実施している団体の支援や活動の立ち上げ、運営に関する相談支援を行っている。

### 令和4年度 ▶ 地域の居場所づくり支援実績

サロン\*マップ連絡会「仲間であつなろう！サロンマップ連絡会」：17名  
サロン交流会「第11回Let's 地域交流活動！サロン交流会」：14名  
サロンマップの会 開催回数：11回  
サロンマップ 掲載団体数78団体



サロン交流会「第11回Let's 地域交流活動！サロン交流会」



「ふれあいいきいきサロンマップ」と「わがまちサロンマップ」

## 広報誌の発行「Connectふちゅう」

新たな人材や企業とつながるため、地域活動の情報を定期的に発信している。情報を目にするだけで、地域活動への第一歩へとつながることを目指している。(新聞折込・市内各種施設等へ送付)

### 【Vol.01】 いざ！地域へ！ 令和4年4月発行



明日からできる地域活動情報紙 /

**Connect** コネクト ふちゅう

発行：社会福祉法人 府中市社会福祉協議会

2022 April Vol. **01** Take Free

**いざ！地域へ！**

定年退職をした方、子育てが一段落して時間ができた方、土日なら空いているという学生さんなど、隙間の時間を活かして、地域の支えあい活動に参加している方々があります。今回は、実際に地域で活動している3名の方のインタビューと、府中市全域で広がっている支えあいの地域活動をご紹介します。自分の得意なことや好きなことを活かせる活動を、ぜひ探してみてください。

インタビューはこちら

第八小学校登校見守り

### 【Vol.02】 私たちは「地域なんでも相談員」です 令和4年8月発行



明日からできる地域活動情報紙 /

**Connect** コネクト ふちゅう

発行：社会福祉法人 府中市社会福祉協議会

2022 August Vol. **02** Take Free

**私たちは「地域なんでも相談員」です**

“住民同士の支えあい活動”の一つとして、「地域なんでも相談員」が、皆さんの身近な地域で活動しています。今号では、「地域なんでも相談員」とはどんな役割なのか、どんな方が活動しているのか、実際に活動している方の声などを紹介します。

対談・インタビューはこちら

### 【Vol.03】 企業・施設・団体の地域活動特集 令和5年3月発行



明日からできる地域活動情報紙 /

**Connect** コネクト ふちゅう

発行：社会福祉法人 府中市社会福祉協議会

2023 March Vol. **03** Take Free

**企業・施設・団体の地域活動特集**

フードドライブBOX設置

スペース貸し出し

#### ●寄せられた声



掲載されている参加者の声が、とても良いですね！

私にも出来ることがあるかもしれないと思った。

活動に興味を持ちました。どうやったら参加できますか？

#### 他にもこんなご意見をいただきました。

- 少しでも役に立てればと思う。地域なんでも相談員研修を受けたい。
- 地域の心強い支援があると、初めて知りました。
- 持っている資格を活かしたい。
- 今は働いているが、将来、何かできれば。
- 記事を読んで、地域活動に興味を持ちました。



#### コーディネーターの感想



「Connectふちゅう」の発行により、地域の支えあい活動に関する、より深掘した情報を多くの方に見ていただける機会ができました。また、実際に地域で活動している方にご協力いただき、インタビュー記事を掲載したことで、地域の支えあい活動をより身近に感じていただける内容になっていると思います。こちらをきっかけに参加される方も増えています。

# 令和4年度 府中市民地域生活に関するアンケート調査

**概要説明** わがまちを中心とした、地域における社協各事業を推進するにあたり、4年に1回を目途に定期的に市民ニーズ\*を調査することにより、市民のニーズに沿った事業展開を目指す。

**調査対象者：府中市内で暮らす世帯の半数 61,112世帯**

回収数：有効回答数 10,173通  
回収率：16.6%

## アンケート設問例

- ・「わがまち」を知っていますか？
- ・「わがまち」に期待することは何ですか？
- ・「わがまち」活動に協力することはできますか？
- ・「わがまち」活動にどのような支援やお手伝いをしてほしいですか？
- ・ボランティア活動や災害ボランティアについて関心はありますか？



## アンケート結果から抜粋

- 「わがまち」の認知度に関する設問では、「知っている」と回答された方が22.3%、「知らない」と回答された方が73%と約7割の方がその存在を認知されていなかった。自由記述でも「活動内容を知らせる工夫」を指摘されており、広報についての課題が明らかになった。
- 「わがまち」に期待することとしては、「高齢者の支援」が55.6%、「子育て・ひとり親家庭への支援」が36.7%、二つの項目を合計すると92.3%と約9割の回答であった。他の設問の「どのようなことに不便や不安を感じますか」への回答では「自分や家族の健康」「老後の生活」「経済的なこと」の順で回答数が多く、老年期における生活不安や経済的な不安を背景とした子育ての不安が、「わがまち」に期待することの回答割合と関連付いているのではないかと推測される。

## コーディネーターの動き

- アンケート自由記述欄にて、現に生活に何らかの困りごとを抱えていると記入された方。  
➔ 担当エリアのコーディネーターより個別に連絡を行い困りごとの把握など相談対応を実施。
- わがまち活動に協力することができると回答された方。  
➔ タウンミーティングのご案内。  
➔ 各わがまち活動の定例会\*や説明会のご案内



## 資料編





## コーディネーター活動実績 【個別支援】(件)

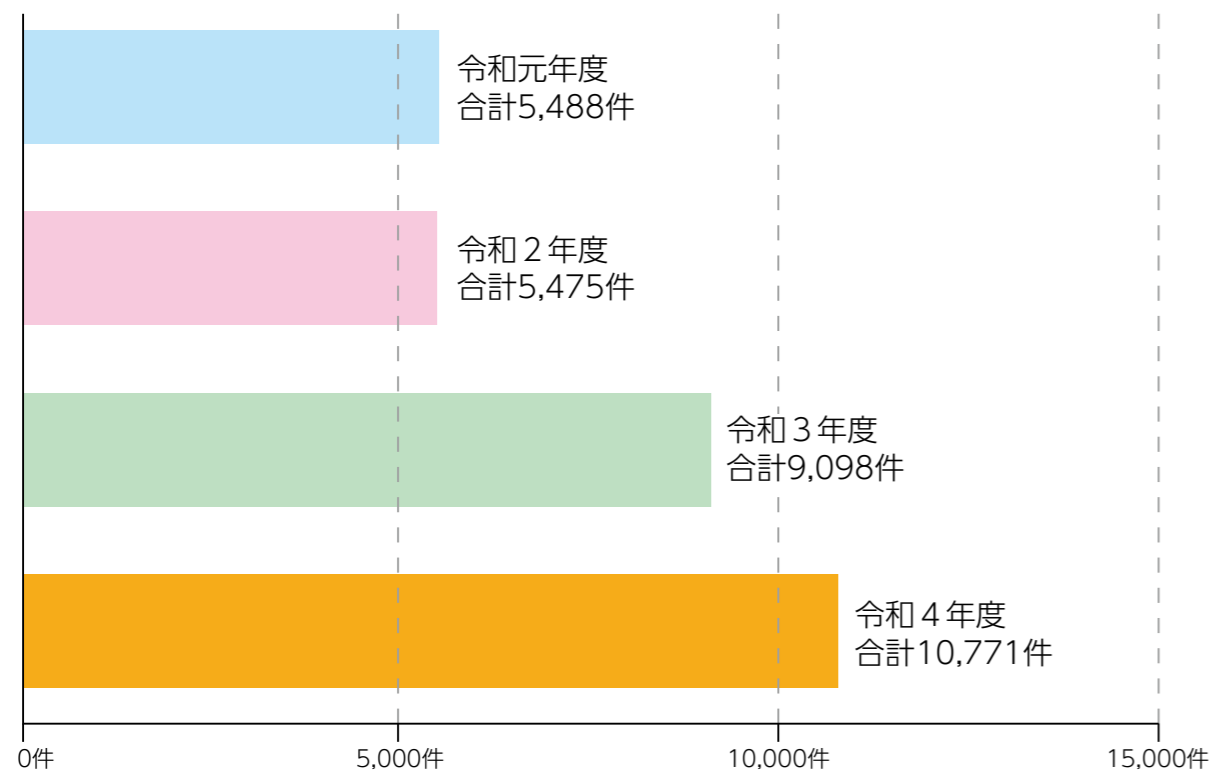
文化センター圏域	相談経路				相談内容		
	訪問	電話	メール	来所	関係形成	個別支援	連絡調整
紅葉丘	203	393	162	141	29	853	48
白糸台	127	369	44	126	351	431	349
押立	236	536	99	109	68	634	322
是政	202	396	34	153	25	637	155
新町	226	354	152	330	80	521	515
中央	499	696	270	239	320	1073	373
片町	174	324	65	167	53	480	230
武蔵台	158	485	87	193	65	605	269
西府	106	292	78	99	32	387	169
住吉	284	695	291	342	118	937	623
四谷	78	194	296	46	43	209	395
全域	25	56	14	24	5	102	15
市外・不明	4	76	6	16	11	63	37
計	2,322	4,866	1,598	1,985	1,200	6,932	3,500
合計	10,771				11,632		

## 実相談者数 (人)

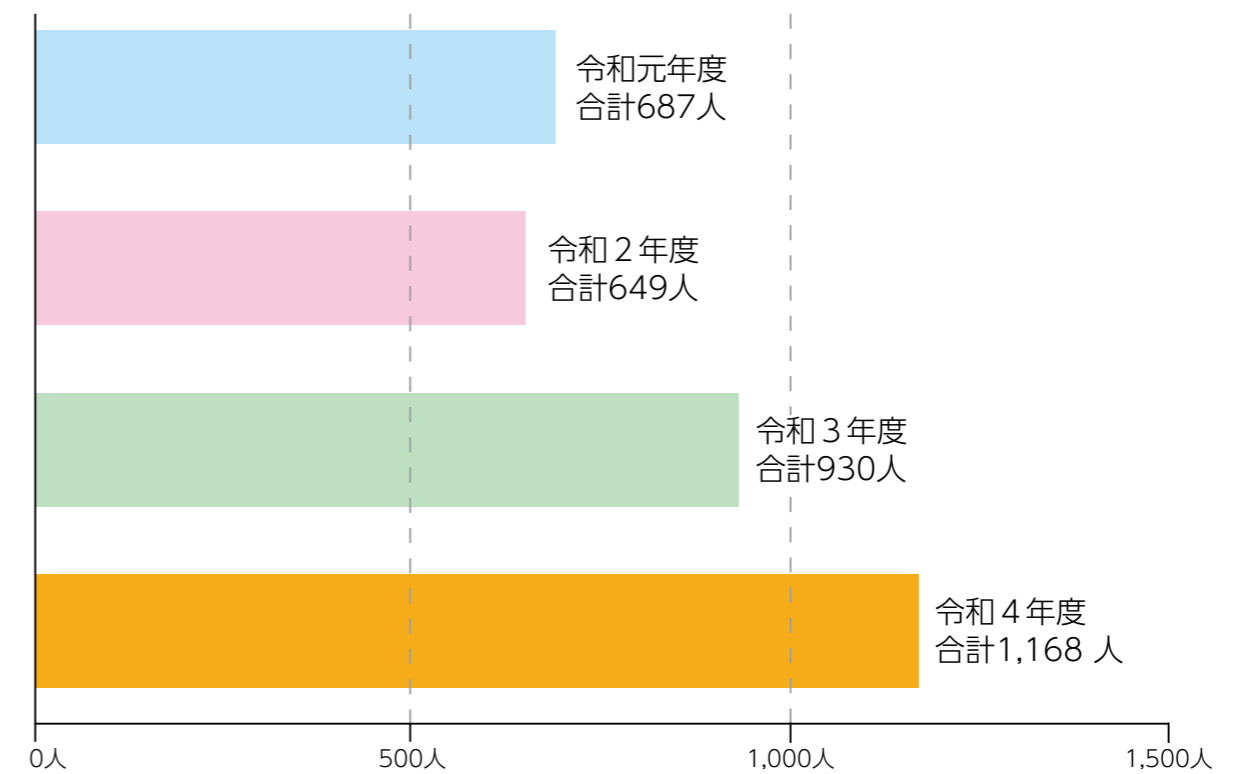
文化センター圏域	令和4年度
紅葉丘	49
白糸台	81
押立	82
是政	16
新町	162
中央	253
片町	95
武蔵台	102
西府	86
住吉	161
四谷	77
その他 (市外・圏域不明等)	5
合計	1,169



## 【個別支援】 合計の推移グラフ



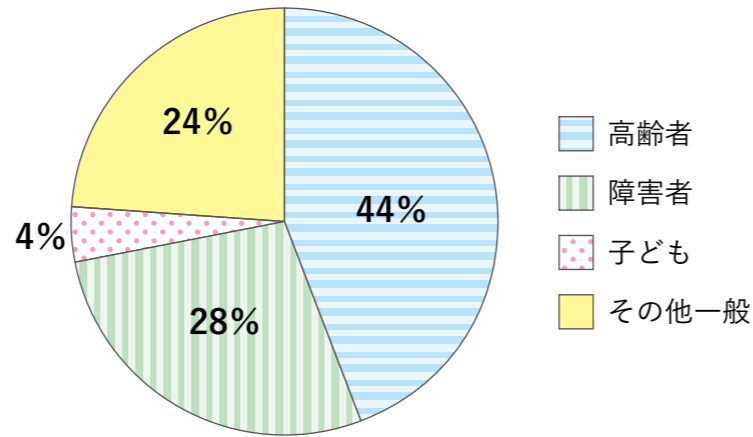
## 相談者実数の推移グラフ



## 相談者分類

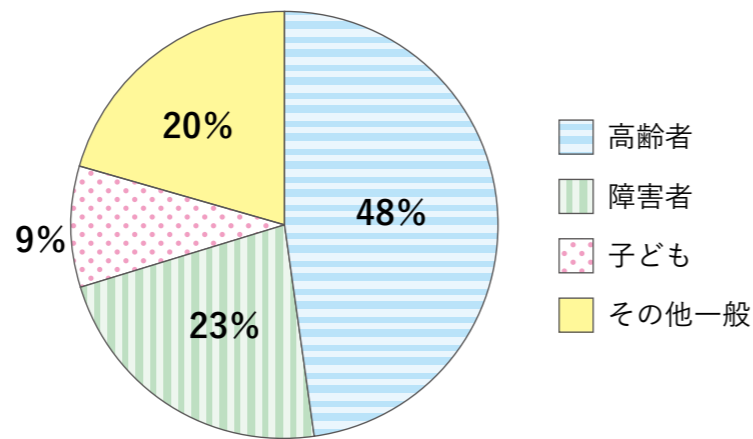
令和2年度 (件)

分類	令和2年度
高齢者	1,800
障害者	1,124
子ども	173
その他一般	960
合計	4,057



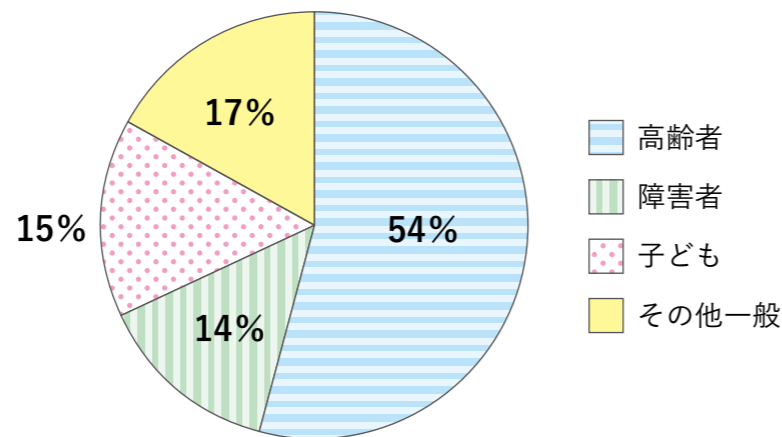
令和3年度 (件)

分類	令和3年度
高齢者	2,983
障害者	1,411
子ども	575
その他一般	1,272
合計	6,241

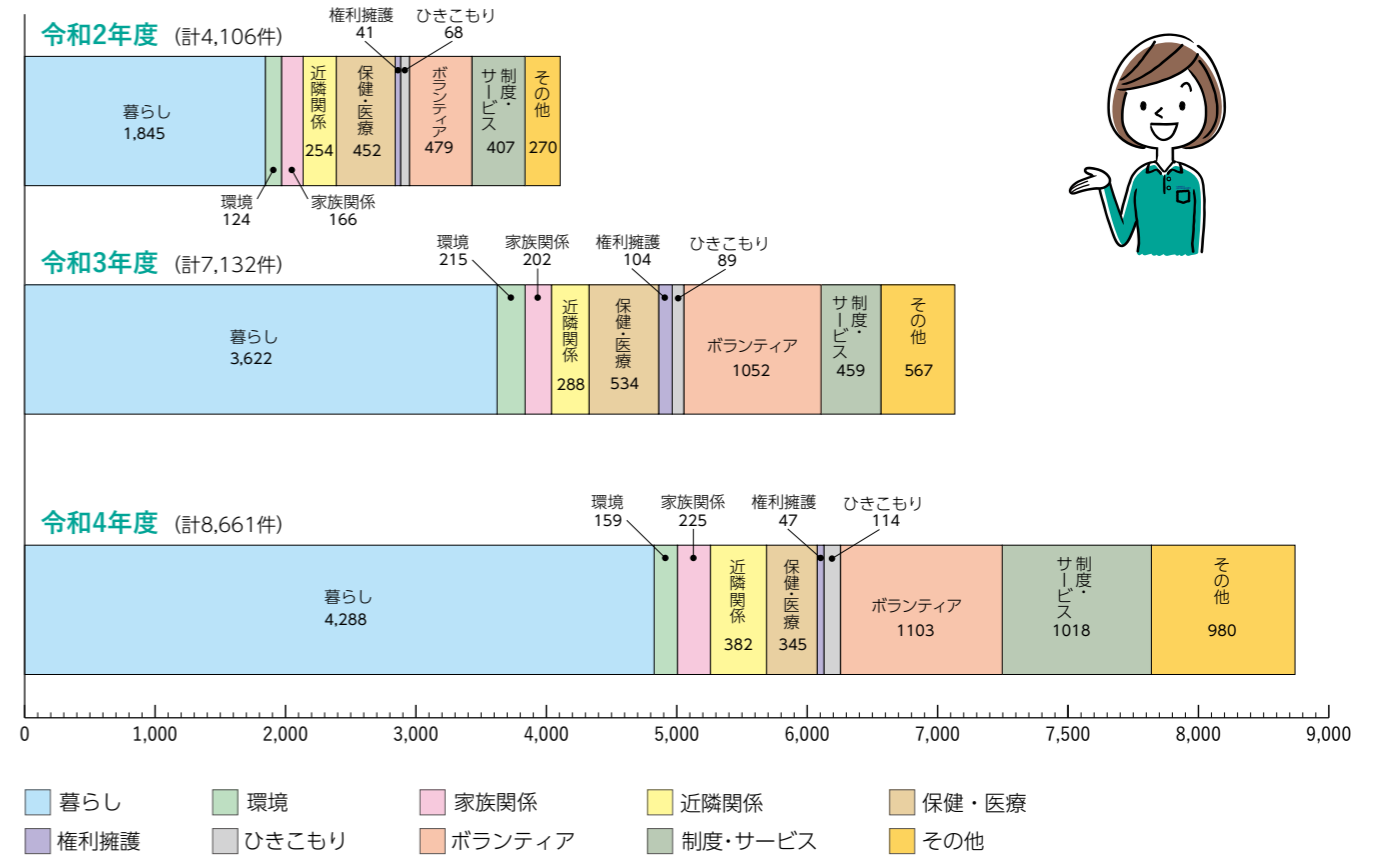


令和4年度 (件)

分類	令和4年度
高齢者	3,635
障害者	939
子ども	1,006
その他一般	1,117
合計	6,697



## 相談内容分類



※ 1回の相談で2つ以上の内容が含まれる場合、両方カウント

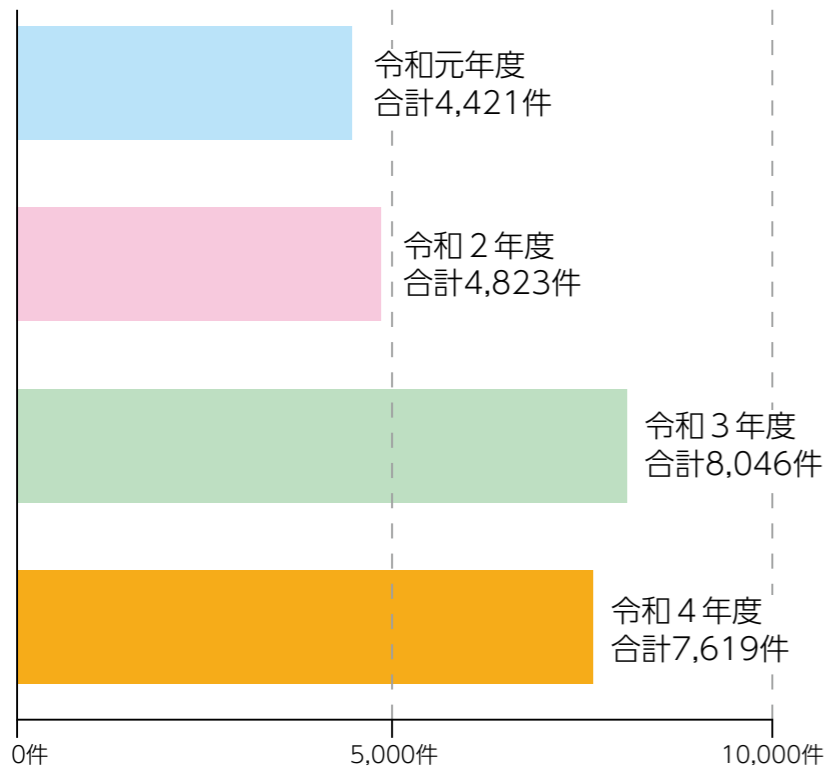
分類	主な相談内容
暮らし	住居(立ち退きなど)、就活、居住保証、金銭問題(管理不十分など)
環境	庭木、片付け、交通事情(危険箇所)、ペットの糞尿問題 など
家族関係	子との同居・別居、離婚、不登校 など
近隣関係	ゴミ屋敷、迷惑行為(騒音、徘徊、異臭)、嫌がらせ、子育ての様子、安否が心配 など
保健・医療	体調、病院を変えたい、認知症の疑い など
権利擁護	法律関係、訴訟、相続、財産分与、消費者トラブル など
ひきこもり	ひきこもり(情報提供、関係形成、関わりを持ってほしい、気にかけてほしい)
ボランティア	特技をいかしたい、ボランティアをしたい、ボランティアをしてほしい
制度・サービス	介護保険、おはようふれあい事業など
その他	居場所が欲しい、サロンについて、訪問販売、犬の散歩ができない など



## コーディネーター活動実績【地域支援】(件)

文化センター圏域	相談経路				相談内容			
	訪問	電話	メール	来所	関係形成	立上支援	運営支援	連絡調整
紅葉丘	219	121	344	48	24	0	695	32
白糸台	130	112	207	53	282	54	330	300
押立	144	95	237	33	24	0	322	180
是政	200	49	97	30	4	10	350	17
新町	242	177	114	75	39	7	449	216
中央	171	446	467	123	49	4	1007	151
片町	161	135	237	57	9	1	266	321
武蔵台	188	116	82	19	4	5	225	168
西府	139	100	45	25	2	2	183	124
住吉	355	318	217	50	11	5	552	373
四谷	249	371	431	51	3	0	498	601
全域	94	64	104	41	22	9	220	87
市外・不明	11	17	6	2	4	1	16	16
計	2,303	2,121	2,588	607	477	98	5,113	2,586
合計	7,619				8,274			

## 【地域支援】合計の推移グラフ



## コーディネーターが行った地域支援 (わがまち支えあい協議会)

※コロナの影響で中止の活動あり。  
緊急事態宣言の期間は、令和2年4月7日～5月25日、  
令和3年1月8日～3月21日。

圏域	活動名	実施年度							令和4年度実績			
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	回数	活動者	利用者
紅葉丘文化センター	ゆる～い生活支援ありすの手	-	-	-	○	○	○	○	○	38	58	46
	若杉会への参加	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
	てばなす	-	-	-	○	○	○	○	○	6	17	55
	PR・活動チラシ配布	-	-	-	○	○	○	○	○	10	26	-
	フードパントリー	-	-	-	-	-	○	○	○	10	114	344
	フードドライブ	-	-	-	-	-	○	○	○	53	78	254
	若松小登校見守り	-	-	-	-	-	○	○	○	142	368	-
	ちよこつと(居場所)	-	-	-	-	-	-	○	○	12	35	73
	互ちそう会	-	-	-	-	○	-	○	○	1	5	10
	学習会	-	-	-	-	-	-	○	○	3	47	-
	文化センター祭り	-	-	○	○	-	中止	中止	○	1	10	-
	文化センター連絡会	-	-	-	-	-	-	-	○	1	1	-
	モミフェス1丁目うどんかい2022	-	-	-	-	-	-	-	○	1	5	-
	十小PTA役員会	-	-	-	-	-	-	-	○	1	1	-
地域文化祭	-	-	-	-	-	-	-	○	1	3	-	
白糸台文化センター	みんなのつどいしらいと	-	○	○	○	○	○	○	○	12	47	116
	みんなの居場所しらいと	-	-	-	-	-	-	○	○	12	36	24
	フードドライブ	-	-	-	-	-	-	○	○	14	14	21
	若松小登校見守り	-	-	-	-	-	○	○	○	41	124	-
	ちよこつとお手伝い	-	-	-	-	○	○	○	○	100	121	100
	ちよこつとお手伝い説明会	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	みんなの居場所わかまつ	-	-	-	-	-	-	-	○	7	24	7
押立文化センター	ちよこつとお手伝い	-	-	○	○	○	○	○	○	130	164	161
	にこここカフェ	-	-	-	○	○	○	○	○	10	47	68
	この指とまれ唄サロン	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	男の料理教室	-	-	-	○	○	中止	中止	中止	-	-	-
	地域の寺子屋	-	-	-	-	○	○	○	○	11	49	117
	地域まつり出展	○	○	○	-	-	中止	中止	-	-	-	-
	フードパントリー	-	-	-	-	-	○	○	○	17	151	389
	フードドライブ	-	-	-	-	-	○	○	○	18	30	44
	南白小下校の見守り	-	-	-	-	-	○	○	○	39	155	-
	あそぶすばこ	-	-	-	-	-	中止	○	-	-	-	-
	子どもお楽しみ会	-	-	-	-	-	-	○	○	2	44	162
	まち歩き	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	アルファ米お渡し会	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	スマホ教室	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	ワクチン接種予約お手伝い	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	映画上映会	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	防災訓練・講座等への協力	-	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-
	わがまちカフェ	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
	ボランティア交流会	-	-	-	-	-	-	-	○	1	13	13
	自治会長との懇談会	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
押立公園夏祭り	○	○	○	○	○	中止	中止	○	2	43	-	
RP活動チラシ配布	-	-	-	-	-	-	○	○	5	20	-	
押立文化センター文化祭	-	-	○	○	○	中止	中止	○	3	7	-	
防災講習会	-	-	-	-	○	-	○	○	2	10	51	
クリスマスイベント	-	-	-	-	-	-	○	○	1	21	178	
地域ウォークラリー	-	-	-	-	-	-	○	○	1	15	44	

圏域	活動名	実施年度								令和4年度実績		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	回数	活動者	利用者
是政文化センター	あいさつし隊	-	-	○	○	○	中止	中止	中止	-	-	-
	八小登校見守り	-	-	○	○	○	○	○	○	44	267	-
	散歩会	-	-	-	-	-	中止	○	○	10	108	-
	小柳小登校支援	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	自治会長との懇談会	-	-	-	-	-	-	○	統合	1	15	19
	シニアクラブ懇談会	-	-	-	-	-	-	○	○	※令和4年度より統合		
	フードドライブ	-	-	-	-	-	-	○	○	2	6	18
	保育園登園支援	-	-	-	-	-	-	○	○	57	68	57
	小柳町支え愛の会 ちよこっとお手伝い	-	-	-	-	○	○	○	○	121	122	191
	小柳町支え愛の会 ほっとサロンお手伝い	-	-	-	-	○	○	○	○	48	94	-
	小柳町支え愛の会 小柳小パトロール	-	-	-	-	○	○	○	○	65	65	-
	小柳町支え愛の会 自治会イベントの手伝い	-	-	-	-	○	○	○	○	10	24	3
	小柳町支え愛の会 「かじやま」のつどい	-	-	-	-	-	○	○	○	48	155	205
	小柳町支え愛の会 研修会	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	南町会 PR 活動 発送作業	-	-	-	-	-	○	○	○	2	6	-
	縁側サロンこれまさ	-	-	-	-	-	-	-	○	10	106	93
	文化センター祭り	-	-	-	-	-	-	-	○	1	18	-
	文化センター文化祭	-	-	-	○	-	-	-	○	2	30	-
	PR 活動チラシ配布	-	-	-	-	-	-	-	○	2	25	-
新町文化センター	木曜サロン	-	-	-	-	○	中止	○	○	34	102	252
	栄町金曜サロン	-	-	-	-	○	中止	○	○	11	59	76
	ふれあいサロンほだほだ	-	-	-	○	○	中止	○	○	11	26	45
	ちよこっとお手伝い	-	-	-	-	○	○	○	○	63	81	63
	第六小学校登校見守り	-	-	-	-	-	-	○	○	35	397	-
	新町子どもカレー食堂 フードパントリー協力	-	-	-	-	-	○	○	○	12	64	-
	新町子どもカレー食堂	-	-	-	○	○	中止	-	-	-	-	-
	フードパントリー	-	-	-	-	-	-	○	○	1	12	18
	フードドライブ	-	-	-	-	-	-	-	○	10	47	214
	地域清掃活動	-	-	-	-	-	-	-	○	9	83	-
	中央文化センター	ちよこっとお手伝い	-	-	-	○	○	○	○	○	48	60
よるカフェ・つながり		-	-	-	○	○	○	○	○	6	19	52
中央ささえあい談笑会		-	-	-	-	-	-	○	○	17	50	41
フードドライブ		-	-	-	-	-	-	○	○	27	43	32
PR 活動チラシ配布		-	-	-	-	-	中止	○	○	10	52	-
PR 活動ラジオブブーズ出演		-	-	-	-	-	-	-	○	1	3	-
福祉まつり		-	-	-	○	-	中止	○	○	1	10	-
フードパントリー		-	-	-	-	-	-	-	○	3	39	62
片町文化センター	ささえ愛ぽかほかサロン	-	-	-	-	○	中止	○	○	6	61	38
	片文ささえ愛キャラバン	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
	ちよこっとお手伝い	-	-	-	-	-	○	○	○	57	78	57
	PR 活動チラシ配布	-	-	-	-	-	-	○	○	11	77	-
	フードドライブ	-	-	-	-	-	○	○	○	5	39	53
	minano フードドライブ	-	-	-	-	-	-	○	○	2	17	34
	フードパントリー	-	-	-	-	-	-	○	○	4	41	60

圏域	活動名	実施年度								令和4年度実績		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	回数	活動者	利用者
武蔵台文化センター	みんなのひろば北山町	-	-	-	○	○	中止	○	中止	-	-	-
	みんなのひろば武蔵台	-	-	-	○	○	中止	○	中止	-	-	-
	お便り配布	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
	ちよこっとお手伝い	-	-	-	-	○	○	○	○	34	42	34
	フードパントリー	-	-	-	-	-	○	○	○	3	26	47
	フードドライブ	-	-	-	-	-	-	○	○	13	69	195
	PR 活動	-	-	-	-	-	-	-	○	2	28	-
	文化センター祭り (準備含)	-	-	-	-	-	-	-	○	3	18	-
	福祉まつり	-	-	-	-	-	-	-	○	1	19	-
	西府文化センター	わがまちサロンにしふらっと!	-	-	○	○	○	○	○	○	10	80
にしふらっと!お便り配布		-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
ちよこっとお手伝い		-	-	-	-	○	○	○	○	12	25	12
ちよこっとお手伝い説明 会		-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
学童クラブ帰宅同行 散歩会		-	-	-	-	-	-	○	○	196	481	-
フードドライブ		-	-	-	-	-	-	○	○	38	38	77
ボランティア説明会		-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
フードパントリー		-	-	-	-	-	-	○	○	4	31	39
地域の清掃活動		-	-	-	-	-	-	-	○	6	42	-
福祉まつり		-	-	-	-	-	-	-	○	1	14	-
住吉文化センター		だれでもふらっとサロン	-	-	○	○	○	○	○	○	12	91
	ちよこっとお手伝い	-	-	-	-	○	○	○	○	44	77	43
	フードパントリー	-	-	-	-	-	-	○	○	7	78	186
	自治会長との懇談会	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	PR 活動チラシ配布	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	ボランティア説明会	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
	おかえり広場保護者説明会	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-
	おかえり広場住吉	-	-	○	○	○	○	統合	○	49	441	173
	おかえり広場南町	-	-	-	-	-	○	○	○	※令和3年度より統合		
	地域文化祭	-	-	-	-	-	-	-	○	2	5	-
	文化センター祭り	-	-	○	○	○	-	-	○	2	24	-
	福祉センター祭り	-	-	-	-	○	中止	中止	○	1	3	-
	立ち上げ報告会	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	フードドライブ	-	-	-	-	-	-	○	○	39	53	123
四谷文化センター	菜々のつどい	-	○	○	○	○	中止	○	○	7	57	32
	PR 活動チラシ配布	-	-	-	-	-	○	中止	○	-	-	-
	ささえあい四谷だより配布	-	-	-	-	-	-	○	○	12	24	480
	ゆうやけ四谷	-	-	○	○	○	○	○	○	207	301	-
	ゆうやけ日新	-	-	-	-	-	○	○	○	53	62	-
	フードドライブ	-	-	-	-	-	-	○	○	51	87	118
	子どもボランティア体験	-	-	-	-	-	-	○	○	9	75	78
	フードパントリー	-	-	-	-	-	-	○	○	6	60	104
	フリーマーケット	-	-	-	○	○	中止	-	○	1	15	100
	シニアクラブ役員会 PR	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
	よつや正吉苑イベント手伝い 定期総会(報告会)	-	-	-	-	○	中止	紙面	○	○	1	14
夏休みマヨネーズ教室	-	-	-	-	○	中止	-	-	-	-	-	
ちよこっとお手伝い	-	-	-	-	-	-	○	○	30	70	29	
文化センター祭り	-	-	-	-	-	-	-	○	2	18	-	
散歩会	-	-	-	-	-	-	-	○	1	6	25	

## 地域支援を行った団体

### 【生活支援コーディネーター（1層）】

- ・ふれあいいきいきサロン活動 サロンマップの会 サロンマップ連絡会 サロン交流会
- ・わがまち支えあい協議会定例会
- ・武蔵村山市社会福祉協議会視察受け入れ

### 【地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーター（2層）】

- ・ひがしふちゅう駅前こども食堂運営支援
- ・クラブリムザ運営委員会
- ・グレイスキッチン子ども食堂パントリー
- ・府中市立第二中学校職業人ワークショップ
- ・あおば子どもの居場所
- ・多磨町の寺子屋
- ・くつろぎユニッツ&ヴィオラ
- ・文化センターまつり出店会議
- ・文化センターまつり
- ・たちばな元気かい
- ・UR賃貸住宅団地（府中グリーンハイツ）を活用した地域ケアに資する取組みに向けたヒアリング
- ・&JOY運営支援
- ・あなたの食堂運営支援
- ・井戸端サロン
- ・子ども食堂なな運営支援
- ・カフェ・ルピナス
- ・縁側サロンこれまさ
- ・サロンたんぽぽ
- ・四谷文化センター圏域自主防災連絡会
- ・にっころ食堂運営支援
- ・フレイル予防講習会参加者と技能実習生との交流会
- ・北山ふれあいサロン
- ・市長と語る会
- ・府中スカイハイツ管理組合理事会
- ・府中第十小学校PTA役員会

- ・府中第八中学校における防災訓練
- ・四谷小出張ボランティア講話
- ・九中出張ボランティア講話
- ・日新小学校における避難所開設体験
- ・よつや苑地域包括主催ケアマネサロン
- ・多摩同胞会主催ケアマネ連絡会
- ・生活福祉資金 民生委員 生活福祉部会 研修
- ・新町小のたっと
- ・はっぴーサロン西府
- ・クラブリムザフードドライブ支援
- ・クラブリムザ防災訓練
- ・府中市総合防災訓練（七中）
- ・介護者友の会
- ・おれんじの会
- ・押立ラジオ体操
- ・四谷1丁目自治会バザー
- ・二中制服リサイクル会
- ・若松小PTA役員会
- ・みんなのサロン
- ・府中高校HUG体験
- ・多磨町会見守りネットワーク会議

## 助成金交付件数

(件)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
地域交流サロン活動	3	20	25
その他の地域福祉活動	4	18	18
福祉関係団体	6	6	6
わがまち支えあい協議会	5	11	11

## 出張ボランティア実施回数

(回)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
車いす体験	0	0	3
高齢者疑似体験	0	0	0
ガイドヘルプ体験	0	0	0
点字体験	0	1	9
手話体験	3	6	5
福祉講話	0	0	3
HUG(避難所運営ゲーム)	0	0	2
視覚障害者講話	2	2	0
聴覚障害者講話	0	1	0
肢体不自由者講話	-	-	2
合計	5	10	24



福祉体験機器の貸出：53 回

## 困りごと相談会対応件数

(件)

文化センター圏域	開催回数	延べ相談件数	相談実人数
紅葉丘文化センター	40	152	60
白糸台文化センター	50	138	57
押立文化センター	47	119	53
是政文化センター	49	113	30
新町文化センター	50	122	27
新町(※増設分)	226	318	79
中央文化センター	40	52	25
片町文化センター	47	96	41
武蔵台文化センター	48	120	34
武蔵台(※増設分)	36	56	23
西府文化センター	47	87	32
住吉文化センター	49	175	50
住吉(※増設分)	87	199	46
四谷文化センター	47	85	23
合計	863	1,832	580



## 外部会議等への出席状況

### 生活支援コーディネーター(1層)

- ・フレイル予防講習会(全包括支援センター開催)
- ・府中市在宅医療・介護連携会議
- ・府中市在宅医療・介護連携会議 認知症部会
- ・府中市地域支援ネットワーク関係者連絡会
- ・府中市介護予防事業検討会議
- ・短期集中予防サービス検討会議
- ・短期集中予防サービス事業に係る評価会議
- ・府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進等協議会



### 地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーター(2層)

- ・府中市民生委員児童委員協議会(地区協議会)
- ・高齢者地域支援連絡会(地域包括支援センター)
- ・多摩同胞会第6回家族支援情報交換会
- ・みなみ町包括多職種事例検討会
- ・包括西府・民生委員との情報交換会
- ・包括しみずがおか・民生委員との情報交換会
- ・青少年対策委員会会長会
- ・青少年対策第5地区理事会
- ・青少年対策第5地区委員会
- ・小規模多機能居宅介護ケアホームこまつ運営会議(内1回書面開催)
- ・小規模多機能居宅介護車返団地コラボケアセンター運営推進会議(書面開催)
- ・車返団地デイサービスセンター・スカイ運営推進会議(書面開催)
- ・小規模多機能居宅介護よつや正吉苑運営推進会議
- ・子ども家庭支援センターたち運営会議
- ・子ども家庭支援センターしらとり運営会議(内1回書面開催)
- ・あさひ苑高齢者在宅サービスセンター運営推進会議
- ・グループホームはなまるホーム運営推進会議(書面開催)
- ・府中市要保護児童対策地域協議会代表者会議
- ・自殺対策関係者連絡会分科会
- ・自殺対策関係者連絡会
- ・困窮支援連絡会「つながりプラス」
- ・府中子ども・子育て審議会(府中市)(内1回書面開催)
- ・府中市子ども・子育て審議会放課後対策部会
- ・支援対象児童等見守り強化事業連絡会
- ・生活福祉課との連絡会
- ・北多摩南部ブロック地域福祉コーディネーター担当者会議
- ・精神障害にも対応した地域包括ケアシステム連絡会議(内1回オンライン)

## 外部研修等への出席状況

- 生活支援体制整備事業にかかる情報交換会 (東社協/オンライン)
- 生活支援コーディネーター初任者研修 (東社協/オンライン)
- 生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ (東社協/オンライン)
- 府中市リハビリテーション専門職研修会 (オンライン)
- 短期集中予防サービス事業強化支援事業研修 (府中市/会場・オンライン)
- 短期集中予防サービス事業全体意見交換会 (オンライン)
- サービスC事業所WEB見学 (オンライン)
- 区市町村介護予防事業担当者向け研修 (東京都健康長寿医療センター/オンライン)
- 自立支援ケア会議 (模擬) 東部地区・中部地区
- 生活支援コーディネーター現任者研修Ⅱ
- 令和4年度生活支援コーディネーター研究協議会 (全社協/オンライン)
- 市区町村介護予防事業担当者向け研修 (東京都健康長寿医療センター/オンライン)
- 介護認定申請にかかる新しい窓口受付研修 西部地区 (内1名オンライン)
- 府中市多職種研修会
- 区市町村社協地域福祉コーディネーター養成研修 (基礎研修編) (東社協/オンライン)
- 区市町村社協地域福祉コーディネーター養成研修 (実践研修編) (東社協/オンライン)
- 区市町村社協地域福祉コーディネーター養成研修 (実地研修編) (東社協/調布市社協他)
- 区市町村社会福祉協議会新任職員研修 (東社協/オンライン)
- 福祉職員キャリアパス対応生涯研修 (東社協/オンライン)
- 孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム 第1回シンポジウム (オンライン)
- 社協が取り組む「子ども食堂」との協働実践研修会 (オンライン)
- 災害ボランティアコーディネーター養成講座 運営者コース初任者向け (オンライン/東社協)
- 中間支援組織スタッフのための支援力アップ塾2022 (オンライン・飯田橋セントラルプラザ/東社協)
- 東京ホームタウンプロジェクト全体研修 (東京都/オンライン)

- 府中市認知症支援研修会 (オンライン)
- 府中市介護職員対象研修会「支援に活かそう！精神不安定さのある高齢者や家族への対応」
- 職場内研修担当者研修 (東社協/オンライン)
- 認知症地域対応力向上研修 (オンライン)
- 若年性認知症相談支援研修 (オンライン)
- 若年性認知症介護・障害事業所向け研修会 (東京都福祉保健局/オンライン)
- コロナ禍で顕在化した地域課題への取組み状況に関する情報交換会 (東社協/オンライン)
- 精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム連絡会議 (オンライン)
- 総合相談・生活支援事例検討会 (全社協/オンライン)
- 生活支援相談活動管理職・担当者全国連絡会議 (全社協/オンライン)
- 生活困窮者自立支援法課題別研修 (全社協/オンライン)
- 生きづらさ合同相談会 (としま若者応援ネットワーク/豊島区立舞台芸術交流センター)
- 府中市子育て支援講演会兼関係機関研修会 (オンライン)
- 東京都地域公益活動推進協議会「広域・情報発信力強化を目的とした研修会」 (オンライン)
- 社協向けCSW事業業務効率化セミナー (株式会社ヴィンテージ/オンライン)
- 「nyoiibox-如意箱」スタートアップ研修 (NIコンサルティング/オンライン)
- 令和4年度第2回「区市町村苦情対応機関 専門研修」 (東社協)
- 令和4年度認知症フォーラム (静岡県健康福祉部福祉長寿政策課/オンライン)



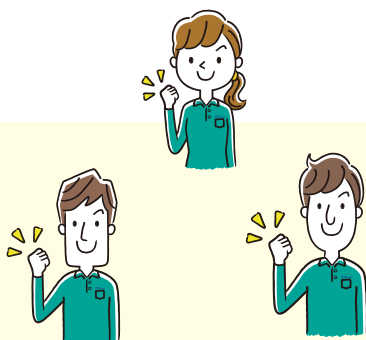
## 用語解説 ①

	用語	解説	
か	外国人技能実習生	「技能実習」という在留資格を取得して日本に滞在し、受け入れ先の企業等で、就労しながら技術・技能・知識の修得を目指す外国人。労働者として扱われ、労働法が適用される	
	ガイドヘルプ	一人では外出できない視覚障害者に付き添って歩行の介助や誘導をする活動	
	関係形成	地域住民、団体、グループ、当事者との関係づくりのための訪問・連絡調整	
	ケース会議	解決すべき課題を抱えて支援を必要としている人のために、関係者がチームとなって情報を共有し、より良い支援ができるようにする会議。	
さ	在宅福祉助け合い事業	当協議会が実施する、おおむね60歳以上の方や障害のある方が、地域で安心して暮らせるように、市民相互の助け合いにより家事や介護等の援助を提供することで、生活を支えていく事業。	
	作業所	障害のある人たちが日中に集い、活動する通所施設のこと。	
	サロン	地域の高齢者や住民が気軽に集まることで、見守りや閉じこもりの防止、また仲間づくりや社会参加を目的として行われる。	
	(障害者)手帳	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の3種の手帳を総称した一般的な呼称。いずれの手帳をお持ちの場合でも、障害者総合支援法の対象となり、様々な支援策が講じられている。	
	住宅セーフティネット 住まい相談事業	住まい探しにお困りの、概ね65歳以上の高齢者、障害者、18歳以下の子育て世帯、低額所得者世帯(月収15.8万円以下)、外国人等の住宅確保要配慮者を対象とした、円滑な入居を促進するための支援事業。	
	就労準備支援	長期間仕事をしていない方や社会との関わりが苦手な方等、すぐに就労をすることが不安な方を対象に、居場所づくりやボランティア体験・就労支援などのプログラムを通じて、働く準備を支援すること。	
	小地域懇談会	地域住民や関係団体が誰でも参加でき、地域の生活課題を共有する場	
	生活福祉課 家計相談	ファイナンシャルプランナー(税金や保険、年金などの知識を持つお金の専門家)が、相談者と一緒に家計の状況を把握し、家計の見直しを支援。税金の支払いや借金の整理なども含めて様々なアドバイスをしてくれる。	
	た	地域公益活動	すべての社会福祉法人は、その高い公益性にかんがみ、「社会福祉事業及び第26条第1項に規定する公益事業を行うに当たっては、日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者に対して、無料又は低額な料金を、福祉サービスを積極的に提供しよう努めなければならない」という責務が課されており、地域の福祉ニーズ等を踏まえつつ、法人の自主性、創意工夫による多様な地域貢献活動が行われています。(社会福祉法第24条第2項より)
		地域資源	自治体、介護事業者、ボランティア団体、NPOの方々などが提供する様々な介護サービスのうち、介護保険外のサービスのこと。

## 用語解説 ②

	用語	解説
た	地域なんでも相談員	地域のちょっとした気になること・心配事を、地域福祉コーディネーターやわがまち支えあい協議会へつなぎ、課題を共有し、解決に向けて一緒に考えていく役割。また、地域で孤立しがちな方を対象に、状況変化などによる課題を早期に発見し、円滑な支援につながるよう、定期的に訪問し、見守り・声掛けをする役割も担っている。
	地域なんでも相談員養成研修	年1回開催している「地域なんでも相談員」の養成講座。研修は座学やワーク、地域活動への体験参加等を通して相談員として地域で活動するスキルを学ぶ、全4日間のプログラムになっている。
	地域福祉活動計画	住民主体の福祉のまちづくりを実践するため、地域住民が直面しているさまざまな生活課題・福祉課題の解決に向けた民間の活動目標をしめすもの。
	地域包括支援センター	地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、地域住民の保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、包括的支援事業等を地域において一体的に実施する役割を担う中核機関として設置。市町村は責任主体。
	定例会	わがまち支えあい協議会で、住民の皆さんのより身近な生活圏域の中で、住民自らさまざまな困りごとに気づき、共有し、一緒に解決して行くしくみづくりのために、概ね月に1回文化センターにて集まって行う会議
な	ニーズ	欲求、要求、需要。
は	伴走支援	深刻化する「社会的孤立」に対応するため「つながり続けること」を目的とする支援。
	福祉教育	平和と人権を基盤にした市民社会の担い手として、社会福祉について協同で学びあい、地域における共生の文化を創造する総合的な活動。
	フレイル予防講習会	加齢に伴い、心身の活力が低下した状態をいう「フレイル」を予防することを目的に、必要な運動と社会参加の方法、栄養・口腔機能について学ぶことができる講習会。
	フードドライブ	家庭で余っている食品を集めて、食品を必要としている地域のフードバンク等の生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動のこと。
	フードパントリー	生活困窮者やひとり親家庭など、何らかの理由で十分な食事をとることができない状況の人々に食品を無料で提供する支援活動のこと。
	文化センター	文化センターは、市役所の窓口、公民館、高齢者福祉館、児童館、図書館が併設された複合施設。
ま	民生委員	厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり、「児童委員」を兼ねている。
ら	ライフライン	生活・生命を維持するための水道・電気・ガス・通信などの施設。
	連絡調整	本人、関係機関との連絡調整、簡単なやりとり。





地域福祉コーディネーター  
生活支援コーディネーター  
令和4年度活動報告書

府中市社会福祉協議会

令和5年12月 発行

発行者：社会福祉法人 府中市社会福祉協議会

〒183-0055 府中市府中町1-30 ふれあい会館内

電話：042-364-5382 FAX：042-362-9090

ホームページ：https://www.fsyakyo.or.jp/

メール：fuwari@fsyakyo.or.jp



2次元コードから  
ホームページへ  
移動できます

